

科目名	心理学基礎ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	大石 英史、小山 典子、三島 瑞穂、脇 貴典、小野 洋平、鈴木 千晴		関連する資格	

授業概要

新入生の大学での学生生活が充実するために行う少人数ゼミナールである。教員と学生の交流ならびに学生同士の交流の中で、学習や生活上に知識やスキルについて学ぶ。本授業は対面授業を基本とする。

到達目標

- (A1101)
- 1) 大学での学び方を修得する。
 - 2) 自分にとってわかりやすいノートを作成することができる。
 - 3) 図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
 - 4) 学術的文章を批判的に読むことができる。
 - 5) レポート作成の手順とルールを理解できる。
 - 6) わかりやすいレジュメを作成することができる。
 - 7) レジュメを使って発表することができる。

成績評価方法

課題およびレジュメ作成 50%
 授業参加度（発言，質疑応答等）10%
 プレゼンテーション 40%
 で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							25
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 大学と大学生活（各教員） 【予習】キャンパスガイドを読んでおく（30分） 【復習】大学で学ぶ意義を改めて考え、前期の達成目標を立てる（40分程度）	振り返りシート
2) アカデミックスキルズとは（各教員） 【予習】アカデミックスキルズについて調べておく（60分） 【復習】アカデミックスキルズに対する理解を深め、自己分析を行う（60分）	振り返りシート
3) ノートのとり方（1）（各教員） 【予習】自分にとって使いやすいノート作りについて整理しておく（60分）【復習】自分にとって使いやすいノート作りを構想する（60分）	振り返りシート
4) ノートのとり方（2）（各教員） 【予習】ノートをどう活用するかという観点からノート作りを再考する（60分） 【復習】授業でとったノートを見直し、工夫、改善を行う（60分）	グループディスカッション 振り返りシート
5) 情報収集（1）：情報の種類、特徴と利用法（各教員） 【予習】日頃の自分の情報収集のやり方について振り返る（60分） 【復習】興味を惹かれるテーマの文献を探す（60分）	データベースを使って、文献検索を行う 振り返りシート
6) 情報収集（2）：図書館とデータベースの使い方（各教員） 【予習】日頃の自分の情報収集のやり方について振り返る（60分） 【復習】興味を惹かれるテーマに関する文献を探し、リストを作成する（60分）	データベースを使って、文献検索を行う 振り返りシート
7) クリティカル・シンキング（1）：クリティカル・リーディングを理解する（各教員）【予習】新聞記事を批判的に読む（60分）新聞記事を批判的に読む（60分） 【復習】授業で提示された課題を行う（60分）	振り返りシート
8) クリティカル・シンキング（2）：クリティカル・リーディングを練習する（各教員）【予習】新聞記事を批判的に読む（60分）【復習】授業で提示された課題を行う（60分）	グループディスカッション 振り返りシート
9) レポートの書き方（1）（各教員） 【予習】レポートの書き方について調べておく（60分） 【復習】情報整理の重要性について理解を深める（60分）	振り返りシート
10) レポートの書き方（2）（各教員） 【予習】レポートの書き方について調べておく（60分） 【復習】レポート作成の手順、構成、引用のしかたについて理解を深める（60分）	振り返りシート
11) レジユメの作り方（各教員）【予習】レジユメとは何かについて調べておく（60分）【復習】どのようなレジユメがわかりやすいかについて、理解を深める（60分）	情報収集 振り返りシート
12) レジユメを作成する（各教員） 【予習】レジユメ作成について調べておく（60分） 【予習】作成中のレジユメを見直し、必要に応じて加筆・修正する（60分）	レジユメ作成 振り返りシート
13) プレゼンテーションのやり方（各教員）【予習】レジユメ発表について調べておく（60分）【復習】レジユメ発表のシミュレーションをする（60分）	振り返りシート
14) 作成したレジユメを発表する（各教員） 【予習】レジユメ発表の練習を行う（60分） 【復習】発表および質疑応答を振り返り、不足点を調べ理解を深める（60分）	プレゼンテーション 振り返りシート
15) まとめ（各教員） 【予習】第14回までの内容を復習する（60分） 【復習】アカデミックスキルズについて復習し、自己分析を行う（60分）	振り返りシート
授業外学習	
授業終わりに提示される課題を行う。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【参考書】 アカデミックスキルズ第3版 大学生のための知的技法入門 佐藤 望（編著）2020年、慶應義塾大学出版会	基礎ゼミナール 心理学実験

課題に対するフィードバック

各ゼミナールごとに提示された課題については、適宜フィードバックを行う。

備考

科目名	心理学基礎ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	小山 典子、三島 瑞穂、脇 貴典、 小野 洋平、古野 公紀、鈴木 千晴	関連する資格		

授業概要

心理学基礎ゼミナール に引き続き、学生生活が充実するために行う少人数ゼミナールである。教員と学生の交流ならびに学生同士の交流の中で、学習や生活上の知識やスキルについて学ぶ。
本授業は対面授業と遠隔授業を併用して行う。

到達目標

- (A1102)
- 1) 自分の興味の惹かれるテーマに関連する文献や資料を探することができる。
 - 2) 文献や資料を精読し、整理することができる。
 - 3) 指定された様式で予稿集原稿を作成することができる。
 - 4) わかりやすいスライドを作成することができる。
 - 5) スライドを使って発表することができる。
 - 6) 自分の発表に対する質問に、的確に答えることができる。
 - 7) 他者の発表を聞いて、質問することができる。

成績評価方法

予稿集原稿及びスライド作成40%
授業参加度（発言、質疑応答等） 10%
プレゼンテーション 50%
で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							25
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) テーマの選択1 （各教員） 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す （計90分）		図書館・データベースを使って、テーマを探す
2) テーマの選択2 （各教員） 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す （計90分）		テーマの発表
3) 文献・資料の収集1 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す（60分） 【復習】収集した文献や資料を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
4) 文献・情報の収集2 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す（60分） 【復習】収集した文献や資料を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
5) 文献・資料の収集2 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献、情報を探す（60分） 【復習】収集した文献、情報を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
6) 文献・資料の精査1 （各教員） 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する（60分） 【復習】精査した文献や資料を整理する（60分）		資料の整理
7) 文献・資料の精査2 （各教員） 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する（60分） 【復習】精査した文献や資料を整理する（60分）		資料の整理
8) 予稿集原稿（概要）の作成1 （各教員） 【予習】予稿集原稿のレイアウトを考案する（60分） 【復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する（60分）		予稿集原稿の作成
9) 予稿集原稿（概要）の作成2 （各教員） 【予復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する（計120分）		予稿集原稿の作成
10) スライドの作成 （各教員） 【予習】予稿集原稿に基づき、スライドの構成を決める（60分） 【復習】作成したスライドを必要に応じて修正し、完成させる（60分）		スライド作成
11) 発表リハーサル1 （各教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する（60分）		プレゼンテーションの練習
12) 発表リハーサル2 （各教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する（60分）		プレゼンテーションの練習
13) 発表会1 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション
14) 発表会2 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション
15) 発表会3 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション 振り返り
授業外学習		
各回の授業内容に応じて、文献・資料の検索、整理および精査する。そのうえで、予稿集原稿およびスライドを作成し、プレゼンテーションの練習を行う。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【参考書】 アカデミックスキルズ第3版 大学生のための知的技法入門 佐藤 望（編著）2020年，慶應義塾大学出版会 前期と同様		基礎ゼミナール 心理学実験 ・ 卒業研究

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションについては、優れた点と改善点等を口頭で即時フィードバックする。

備考

科目名	情報処理演習（情報リテラシー）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	伊藤 香	関連する資格	初級システムアドミニストレータ パソコンインストラクター資格	

授業概要

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、現代社会を生きる我々にとって、インターネットを利用した基本的な情報収集や情報発信の知識を必ず習得しておかなければならない。本演習では、インターネットに関する基礎知識、電子メールのアカウント設定・操作方法、WWWを用いた情報検索・情報収集、簡単なWebページの作成方法などを中心に学習する。演習レポートをすることによって授業内容の理解を深めていく。

講師は、ITコンサルタントとして小規模事業者のITリテラシー向上に寄与するほか、専門学校および社会人を対象にした講座での講師経験があり、それらをもとにインターネットの利活用・Webサイト作成について授業を行う。

到達目標

A1103

インターネットを効果的に活用し、大学生活や学習、将来に必要な情報を効率的かつ安全に得ることができる。インターネット上の危険性について理解する。知的財産や個人情報の保護について理解する。

成績評価方法

期末定期試験、小レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○						25
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度					○		25
プレゼンテーション		○	○		○		20
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) メールアドレスの設定、パソコン操作の基礎。予習として、事前アンケート。授業の進行の参考にするためです。内容は成績に影響しませんが、回答がなければ、その後の授業で不利になることがあります。	対面・演習・小レポート
2) インターネットの基本的な仕組みを学ぶ。復習では、パソコンに触れて扱いに慣れておきましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
3) 情報セキュリティ、ウィルスについて学ぶ。復習では、自分が普段使用しているパソコンのセキュリティ対策が十分であるのか確認しておきましょう。個人のパソコンについての相談は応じられません。	対面・演習・小レポート
4) インターネットにおける知的財産権、個人情報の取り扱いについて学ぶ。自分のインターネットの使い方が正しいかどうか、復習では振り返っておきましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
5) インターネット上の犯罪について事例を通して学ぶ。自分や周りの人が犯罪に巻き込まれないために、正しい知識を身につける。復習では、自分の普段の行動を振り返り、安全を確認しましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
6) SNSを学習や仕事で活かす方法の他、マナーやリスクについても学ぶ。復習では、実際にSNSを使用したビジネスを探してみましょう（20分程度）。ただし、安全と信用が確認されないものに不用意に近づかないこと。	対面・演習・小レポート
7) インターネットを学習に役立てる。学習に役立つインターネットのサイトを探す。安全で正しい情報を見分け、効果的な学びに活かす。復習では、実際に勉強にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
8) 心理学の学習に役立つインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を適切に管理、整理する。復習では、授業で得た情報を振り返っておきましょう（15分程度）。	対面・演習・小レポート
9) 心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習では、他教科の課題や自習にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
10) インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
11) インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
12) インターネットで調べた心理学に役立つサイトについて、どのようなサイトが魅力的なのか、また学びやすいのか等、情報交換と意見交換をする。復習では、良いと思ったサイトを確認しておきましょう（15分程度）。	対面・演習・小レポート
13) インターネットを心理学以外の教養の学習に役立てる。様々な分野が学べるインターネットのサイトを探す。そこで得た情報を効率的に整理する。復習でも、教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
14) インターネットを心理学以外の教養のサイトについて、情報交換と意見交換をする。簡単な発表をする。復習でも、他の人が発表した教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
15) まとめ	対面・演習・小レポート
授業外学習	
インターネット上の危険性について十分に理解した上で、積極的に活用し、自分の興味・関心を広げていくことが望ましい。知識を定着するためには、ネットサーフィンするだけでなく、そこで得た情報を整理して自分の言葉で置き換えたり、自分の考察を深める必要がある。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：使用しない（プリント配布） モラル：プリント配布</p> <p>総務省、経済産業省等公的機関の提供するサイト その他、授業内で有用なサイトを紹介します</p>	<p>情報処理演習（文書作成） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（EXCEL）</p>

課題に対するフィードバック

小レポート（課題）の内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業の内容は、今後の基礎となるものです。欠席しないようにしましょう。過去の経験によって、授業内容が既に習得済みの内容であるなど、習熟度に大きな差があると思います。その場合も慢心せず、より高度な情報をインターネットで探すなど、自己研鑽してください。また助言や相談は習熟度が上がりますので、他者の学習の妨げにならない範囲で積極的に行いましょう。

科目名	情報処理演習（文書作成）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	鈴木 千晴	関連する資格	心理学実験 ・ 、情報処理演習（プレゼンテーション）、情報処理演習（情報リテラシー）	

授業概要

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場面が多様化し、ことばはますます重要になってきている。そこで、本授業では一般社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目的とする。口語と文章語など、語彙の感覚を身につけるとともに、上手な文の組み立て方を学習する。また、手紙やさまざまな文章の形式を学び、実践する。

社会人としても大学生としても、パソコンのワープロソフトを用いて文書を作成する能力は重要である。スマートフォンでも文書を作成するアプリを利用できるが、他のソフトウェアから図やグラフ、写真などを貼り付けることはできず、様式が整わない、大量の文書を作成しづらいといった欠点がある。

大学生としては、レポートの作成、文書の作成、情報の保存といった利用例が挙げられる。まず、大学の授業で出されるレポートはMicrosoft Wordという文書作成ソフトウェアを用いることが多い。様式の整ったレポートを作ることができ、内容の編集や保存、印刷、送付等が容易である。授業の中にはメールでレポートを提出することが求められる場合があり、その場合もWordソフトを使用する必要がある。また、卒業論文は必ずWordソフトを使用する。

社会人としても公式の文書はWordソフトを使用することが多く、会社に勤める際には必須の能力である。適切な様式で文書を作成する、適切に保存、管理をする、情報を効果的に統合するといった技術は、社会人になる前に習得すべきものである。一般企業はもちろん、心理職でも報告書の作成や論文作成に欠かせない。

ただし、大学入学前に既にこういった技術を習得している学生もいると思われる。そういった学生に対しては、文書作成の技術の習得状況に応じて、レベルの高い課題や資格取得を提案する。

到達目標

(A1104)

- Wordソフトウェアを利用した文書作成について、次の技術を習得する。
- ・ローマ字で日本語文章の入力が、60文字/1分 以上の速さでできる。
 - ・漢字変換やフォント（文字の形）の選択が問題なくできる。
 - ・分かりやすい文書を作ることができる。
 - ・他の文書情報、写真、イラスト等の挿入ができる。
 - ・表の作成ができる。
 - ・レイアウトの変更や調整ができる。
 - ・レポートや論文の様式を作ることができる。

成績評価方法

毎回の小レポート課題で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○			○	○		10
授業態度・授業参加度	○		○		○		30
プレゼンテーション	○			○	○		10
グループワーク	○		○		○		10
演習	○				○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) Wordソフトウェアの基本的な操作を学ぶ。習熟度を確認する。 予習はPCスキルを確認しておく。 復習はパソコンの基本操作、ローマ字入力等を行う。（各15分程度）	アンケート
2) Wordソフトの基本的な操作、文字入力に慣れる。 レポートの基本的な様式を学ぶ。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を練習する（各15分程度）。	演習・小レポート
3) Wordソフトの機能を用いた効率的な文書ファイルの作成を学ぶ。 文献を調べ、レポートにまとめる方法を学ぶ。 予習・復習：習熟度に応じてPC操作を学ぶ。文献を読み込む。（各15分程度）	演習・小レポート
4) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
5) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
6) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
7) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
8) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
9) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
10) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
11) ビジネス文書の基本ルールを学び、形式、書き方等に慣れる。 Wordソフトの応用機能を学ぶ。 予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
12) ビジネス文書の基本ルールを学び、形式、書き方等に慣れる。 予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
13) Wordソフトでチラシを作成する。Wordの機能を用いた効率的な作成のコツを身につける。予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
14) Wordソフトでチラシを作成する。Wordの機能を用いた効率的な作成のコツを身につける。予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
15) 卒業論文や心理学の実験レポート等に活かせるWordソフトの機能を学ぶ。予習・復習は習熟度に応じて行う（各20分程度）。	小レポート
授業外学習	
ローマ字入力に慣れると効率的に文書が作成できるので、なるべく早く正確に入力できるようにしましょう。文書作成は他科目のレポートの作成や課外活動の企画、報告、就職後も色々と役立ちます。なるべく普段から使い慣れておきましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：戸田山 和久（著）「最新版 論文の教室：レポートから卒論まで（NHKブックス 1272）」NHK出版 共有テキスト：実教出版企画開発部「30時間でマスター Office 2021」	情報処理演習（インターネット） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（表計算） 心理学研究法 日本語の科学

課題に対するフィードバック

小レポートの内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業を受講する学生は、入学前までの経験により、文字入力やソフトの活用方法に関する習熟度に大きな差があると思います。既に習得済みの内容の授業では、関連する内容の範囲で、より高度な情報をインターネットで探すなどしてください。また、人に教えることは自分の能力の向上にとっても役に立ちますので、演習中は助言や相談をお互いにしましょう。

科目名	情報処理演習（表計算）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	伊藤 香	関連する資格	初級システムアドミニストレータ パソコンインストラクター資格	

授業概要

大学の授業における基礎的なデータ集計作業のツールとして、パソコンの表計算ソフト（エクセル）を使用することが多い。この授業では、表計算ソフト（Microsoft Excel）の基本的なしくみと特徴（関数・計算・グラフ・データベース等）を紹介しながら、表計算ソフトExcelを用いたデータ処理に関する演習を行うことにより、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。

講師は、ITコンサルタントとして小規模事業者のITリテラシー向上に寄与するほか、専門学校および社会人を対象にした講座での講師経験があり、それらをもとに表計算ソフトの利活用・データベースについて授業を行う。

到達目標

A1105

- 1) Excelを使用して、表を作成することができる。
- 2) Excelを使用して、計算を行うことができる。
- 3) Excel関数を使用して、データ操作を行うことができる。
- 4) Excelを使用して、作成した表からグラフを作成することができる。
- 5) Excelを使用して、データベースを作成することができる。

成績評価方法

期末定期試験、小レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○						30
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			15
授業態度・授業参加度					○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	【ガイダンス】授業計画と方針について 【Excelの基礎知識】起動と終了、Excelの概要 【予習】Excel利用歴を振り返る(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
2)	【Excel入門】 データ入力と簡単な表の作成を行いつつ、Excelの基礎的な使い方を学ぶ 【予習】1章,2章1-3を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
3)	【Excel入門】 簡単な表を利用して、Excelの基礎的な構造と機能を学ぶ 【予習】3章1-5を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
4)	【ワークシートの活用】 より見栄えのよい作表技術を学びながら、計算式の基礎を身につける。 【予習】3章6-10を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
5)	【ワークシートの活用】 よく使う関数や絶対参照など高度な計算式の組み立てを身につける 【予習】4章1-6を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
6)	【ワークシートの活用】 条件式など高度な計算式を組み立てる力を身につける 【予習】4章7-9を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
7)	【グラフ】 - グラフの基礎 - 表のグラフ化で訴求力のある資料作りを学ぶ。 【予習】2章4,5章を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
8)	【グラフ】 - グラフの応用 - 特殊なグラフ作成を学び、最適なグラフを選択する力を身につける 【予習】6章を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
9)	【データベース】 - データベースの基礎 - Excelデータベース表の作成方法と注意点を学ぶ 【予習】7章1を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
10)	【データベース】 - データベースの活用 - 並べ替え・検索・抽出・集計方法を学び、分析力を身につける 【予習】7章2-6を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
11)	【Excelの応用】 - 高度な関数 - 順位付け関数や参照関数を学び、分析技術を身につける 【予習】8章1-4を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
12)	【Excelの応用】 - 高度な関数 - 文字列操作に関する関数など、データの形式に影響されない作表を学ぶ 【予習】8章5-7を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
13)	【総合演習 1】-複合的な資料の作成- ファイルやシート、アプリソフト等との連携で、各々の特徴を整理する 【予習】8章11・12を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
14)	【総合演習 2】-複合的な資料の作成- 高度なExcelの活用方法を学ぶ 【予習】8章10を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
15)	【総合演習 3】-総合演習まとめ 今までの学習を振り返り、苦手部分を各々精査する。 【予習】生活にExcelを取り入れる(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
授業外学習		
Excelは社会に出てからも頻繁に使用するソフトです。この授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習しておきましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
30時間でマスター Excel2021 (Windows11対応)【実教出版】		情報処理演習 (情報リテラシー) 情報処理演習 (文書作成) 情報処理演習 (プレゼンテーション)

課題に対するフィードバック

小レポート（課題）の内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業の内容は、今後の基礎となるものです。欠席しないようにしましょう。過去の経験によって、授業内容が既に習得済みの内容であるなど、習熟度に大きな差があると思います。その場合も慢心せず、より高度な作表に挑戦するなど、自己研鑽してください。また助言や相談は習熟度が上がりますので、他者の学習の妨げにならない範囲で積極的に行いましょう。

科目名	情報処理演習（プレゼンテーション）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	脇 貴典、高松 博由樹		関連する資格	

授業概要

フォーマルな場面において発表（プレゼンテーション）を行う能力は、学習の上でも仕事の上でも重要なスキルの一つです。本授業では、プレゼンテーションの理解を深めると共に、プレゼンテーション資料作成の主要なツールであるMicrosoft Power Pointの基本操作方法について学習します。実際にプレゼンテーション資料を作成しながら、プレゼンテーションのテクニックを学び、作成した資料に基づいて発表を行います。併せて、動画作成についても学び、さまざまなプレゼンテーション方法についての理解を深めます。

到達目標

- (A1106)
- 1) Power Pointを使用して、基本的なプレゼンテーション資料を作成することができる。
 - 2) Power Pointを使用して、プレゼンテーションを行うことができる。
 - 3) 動画を撮影・編集し、動画を用いたプレゼンテーションを行うことができる。
 - 4) プレゼンテーションの要点を把握し、口頭発表や動画を用いたプレゼンテーションに応用することができる。

成績評価方法

プレゼンテーション、プレゼンテーション資料（PowerPoint、動画）の作成、授業への取り組み姿勢などを総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							60
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) -PowerPointの基本操作- デザイン・色彩 【予習】参考資料を読む（30分） 【復習】操作の確認（60分）	授業内課題
2) -PowerPointの基本操作- グラフ・図の作成 【予習】参考資料を読む（30分） 【復習】操作の確認（60分）	授業内課題
3) -PowerPointの基本操作- 構成・根拠 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の確認（45分）	授業内課題
4) グループ・プレゼンテーション 【予習】内容の検討・作成（60分） 【復習】内容の省察（30分）	プレゼンテーション グループワーク
5) -プレゼンテーション資料の構成- 表現の型 【予習】参考資料を読む（30分） 【復習】構成の確認（60分）	授業内課題
6) -プレゼンテーション資料の構成- コンセプト 【予習】参考資料を読む（30分） 【復習】構成の確認（60分）	授業内課題
7) -プレゼンテーション動画の作成- 概要 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の修正（45分）	授業内課題
8) -プレゼンテーション動画の作成- 企画 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の修正（45分）	授業内課題
9) -プレゼンテーション動画の作成- 撮影 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の修正（45分）	授業内課題
10) -プレゼンテーション動画の作成- 編集 【予習】内容の検討（45分） 【復習】内容の修正（45分）	授業内課題
11) -動画によるプレゼンテーションと相互講評- 【予習】内容の検討・作成（60分） 【復習】内容の省察（30分）	プレゼンテーション
12) -動画によるプレゼンテーションと相互講評- 【予習】内容の検討・作成（60分） 【復習】内容の省察（30分）	プレゼンテーション
13) -プレゼンテーションの準備- 発表のねらい 【予習】内容の検討・作成（60分） 【復習】内容の修正（30分）	授業内課題
14) -プレゼンテーションの準備- 発表時の留意点 【予習】内容の検討・作成（60分） 【復習】内容の修正（30分）	授業内課題
15) 最終プレゼンテーション 【予習】本授業のふりかえり（60分） 【復習】本授業のまとめ、自己評価（30分）	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>この授業では、PowerPointソフトの機能の習熟や動画編集に加えて、プレゼンテーションの内容を重視します。授業時間外も自分なりに発表用のプレゼンテーション資料をブラッシュアップしてみましょう。</p> <p>また、この授業で覚えたPower Pointの操作や動画編集の技術を、授業外でも繰り返し練習したり、その他の発表にいかしてみましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>参考書：30時間でマスターOffice 2021 / 実教出版企画開発部 情報処理演習(情報リテラシー)、情報処理演習(文書作成)、 情報処理演習(表計算)のテキストを兼ねています。このテキストの他、教員が用意する演習課題に取り組みます。</p>	<p>情報処理演習(情報リテラシー)、情報処理演習(文書作成)、 情報処理演習(表計算)</p>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションの内容について、講評を行います。

備考

- ・この授業の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。毎回出席するようにしてください。
- ・合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

対話や活動を通してコミュニケーション能力を高めていく。
 文章表現ルールを整理していくことで、既習文法や文型を正確に使えるようにしていく。自分らしい言葉や表現を探りながら、まとまった文章が書けるようにしていく。課題に関して意見や考えを発表し、質疑にも的確な応答ができるようにしていく。

到達目標

- A1107
- ・積極的なコミュニケーションができるようになる。
 - ・既習文法や語彙が文章の中で正確に使え、適切な日本語表現ができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、コミュニケーション活動への参加度、課題等

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、プレースメントテスト コミュニケーション活動	
2) 文型練習 自己紹介文作成・発表 【復習】資料再読・文型復習（30分）	発表
3) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法1課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
4) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法1課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
5) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法2課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ペア/グループワーク
6) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法2課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
7) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
8) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表 ペア/グループワーク
9) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
10) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法4課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ペア/グループワーク
11) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法4課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表 ペア/グループワーク
12) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法5課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
13) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法5課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
14) コミュニケーション活動 文章表現のルール文体、課題文作成 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
15) 発表、質疑応答、総括	プレゼンテーション
授業外学習	
習得語彙がどんどん増えるように学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題を配布	日本語、

課題に対するフィードバック

練習問題、短文作成等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

文章表現のルールを整理し、自然な日本語でより良い文章を書けるようしていく。類似表現や使い方を間違えやすい文法を整理することで、正確な日本語が使えるように練習していく。グループ討議やスピーチを通して、日本語運用能力を高めていく。

到達目標

A1108

- ・より豊かな日本語表現を身に付ける。
- ・文章表現ルールや語彙を的確に使いながら、自分の考えをまとめ、意見を述べたり、スピーチができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、コミュニケーション活動への参加度、課題等

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション コミュニケーション活動 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
2) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法6～9課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
3) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法6～9課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
4) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法10課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ディスカッション
5) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法13課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
6) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法13課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
7) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
8) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク プレゼンテーション
9) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課（発展：ストーリー作成） 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ディスカッション
10) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法15課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
11) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法15課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
12) コミュニケーション活動（スピーチの組み立て方） 文章表現のルール文法16課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
13) コミュニケーション活動（1分間スピーチ） 文章表現のルール文法16課 【予習】スピーチ作成 【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
14) コミュニケーション活動（1分間スピーチ） 文章表現のルール文法16課 【予習】スピーチ作成 【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
15) コミュニケーション活動（3分間スピーチ） 総括 【予習】スピーチ作成	プレゼンテーション
授業外学習	
習得語彙がどんどん増えるように学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題を配布	日本語、

課題に対するフィードバック

練習問題、スピーチ等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

新聞記事や評論文を読み、日本社会について考え、論理的なレポートが書けるようにする。また、それを基にスピーチをする。
聞き手の印象や感情に配慮したコミュニケーション能力を身に付ける。日本語能力試験N1(N2)合格に照準を合わせ、漢字・語彙・文法をより強化していく。

到達目標

A2105
積極的に自分の考えを述べられる。
論説的なスピーチやレポートが書ける。
N1レベルの語彙や文法を習得する。

成績評価方法

定期試験、ディスカッションへの参加度、スピーチ等。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション コミュニケーション活動 【復習】資料再読、練習問題（60分）	
2) 聴解・読解・ディスカッション 文法文型強化・演習 【予習】テキスト一読 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
3) 聴解・読解・ディスカッション 文法文型強化・演習 【予習】テキスト一読 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
4) 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク
5) 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
6) 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する発表、ディスカッション 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
7) 文法文型強化・演習 聴解・読解・ディスカッション 【予習】テキスト一読 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
8) 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク
9) 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
10) 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する発表、ディスカッション 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
11) 文法文型強化・演習 聴解・読解・ディスカッション 【予習】テキスト一読 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
12) 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク
13) 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
14) 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
15) 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する発表、ディスカッション 総括 【予習】テキスト一読	プレゼンテーション ディスカッション
授業外学習	
N1レベルの語彙習得のために、学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
日本語総まとめN1(N2)文法 他、適宜資料や練習問題をを配布	日本語、日本語、日本語

課題に対するフィードバック

練習問題、発話文等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

テーマに関する調査、考察、発表をする。発表者の意見や主張に対して、的確な質問ができ、反対意見を明確に説明することができるようにしていく。活発なディスカッションを通して、応用力のあるコミュニケーション能力を身に付けていく。日本語能力試験N 1 (N2)合格に照準を合わせ、漢字・語彙・文法をより強化していく。

到達目標

A2106

テーマに沿って考察したことを発表できる。
 発言者の意見や主張に的確な質問ができ、反対意見を明確に説明できる。
 N 1 (N2)レベルの語彙や文法が使えるようになる。

成績評価方法

定期試験、レポート、プレゼンテーション等。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション コミュニケーション活動 文法文型強化・演習	ペア/グループワーク ディスカッション
2)	文法文型強化・演習 テーマ1に関する読解、考察 【復習】演習問題復習（30分）	ペア/グループワーク ディスカッション
3)	文法文型強化・演習 テーマ1に関する読解、考察 【予習】テーマ調査 【復習】テーマ考察・演習問題復習(60分)	ペア/グループワーク ディスカッション
4)	文法文型強化・演習 テーマ1に関するレポート作成 【予習】レポート下書き【復習】レポート文推敲・演習問題復習(60分)	ペア/グループワーク
5)	文法文型強化・演習 テーマ1に関する発表、ディスカッション 【予習】発表練習 【復習】演習問題復習（30分）	プレゼンテーション ディスカッション
6)	文法文型強化・演習 テーマ2に関する読解、考察 【復習】資料再読・演習問題復習（60分）	ペア/グループワーク ディスカッション
7)	文法文型強化・演習 テーマ2に関する読解、考察 【予習】テーマ調査（60分）【復習】テーマ考察・演習問題復習(60分)	ペア/グループワーク ディスカッション
8)	文法文型強化・演習 テーマ2に関する読解、考察 【予習】テーマ調査 【復習】テーマ考察・演習問題復習(60分)	ペア/グループワーク ディスカッション
9)	文法文型強化・演習 テーマ2に関するレポート作成 【予習】レポート下書き【復習】レポート文推敲・演習問題復習(60分)	ペア/グループワーク
10)	文法文型強化・演習 テーマ2に関する発表、ディスカッション 【予習】発表練習 【復習】演習問題復習（30分）	プレゼンテーション ディスカッション
11)	文法文型強化・演習 テーマ3に関する読解、考察 【予習】テーマ調査（60分）【復習】テーマ考察・演習問題復習(60分)	ペア/グループワーク
12)	文法文型強化・演習 テーマ3に関する読解、考察 【予習】テーマ調査 【復習】テーマ考察・演習問題復習(60分)	ペア/グループワーク
13)	文法文型強化・演習 テーマ3に関するレポート作成 【予習】レポート下書き【復習】レポート文推敲・演習問題復習(60分)	ペア/グループワーク
14)	文法文型強化・演習 テーマ3に関する発表、ディベート 【予習】発表練習 【復習】演習問題復習（30分）	プレゼンテーション ディベート
15)	文法文型強化・演習 テーマ3に関する発表、ディベート2 総括	プレゼンテーション ディベート
授業外学習		
N1(N2)レベルの語彙習得のため、学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的にどんどん自習すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
日本語総まとめN1(N2)文法 他、適宜資料や練習問題を配布		日本語、日本語、日本語

課題に対するフィードバック

作成した文章を自ら推敲できるように適切な助言をしていく。

備考

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。社会人として必要とされる程度の英語力を身につけるための基礎として、日常生活でよく使う単語を各授業で取り上げ、コミュニケーションへと繋げていく。また、必要に応じて文法の指導や英文のリーディング及びライティングの指導を行う。このクラスは、Aクラス（初級）です。

到達目標

(A1109)

- 1 英語の基本的文法事項を理解することが出来る。
- 2 英語で基本的なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前期間中に英語で口頭発表をしてもらう。
2) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『An Amazing Avenue for the TOEIC L&R Test 400』 はぎ 寛美他編著 成美堂	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	谷國 晶洋		関連する資格	

授業概要

対面で授業を行う。社会人として必要とされる程度の英語力を身につけるための基礎として、TOEIC L&Rの色々なタスクを通し日常生活でよく使う単語を各授業で取り上げ、コミュニケーションへと繋げていく。また、必要に応じて文法の指導や英文のリーディング及びライティングの指導を行う。

到達目標

A1109

- 英語の基本的文法事項を理解することが出来る。
- 英語で基本的なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)				○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度				○			20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 Restaurants [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Review Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
3) Unit 2 Daily Life [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
4) Unit 3 Campus life [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
5) Unit 4 Shopping [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
6) Unit 5 Entertainment [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
7) Unit 6 Office Work (1) [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
8) Unit 7 Office Work (2) [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
9) unit 8 Bank & Post Office [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
10) Unit 9 Job Hunting [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
11) Unit 10 Housing [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
12) Unit 11 Transportation [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
13) Unit 12 Hotels [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
14) Unit 13 Events [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
15) Unit 14 Health [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『An Amazing Avenue for the TOEIC L&R Test 400』 Hiromi Hagi他編著 成美堂	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。英文を速読するための知識・技術の向上を図る。一定量の英文の内容に関してポイントを解説した後、出来るだけ早くパラグラフ・リーディングを行ってゆく。毎回演習問題を宿題として課す。訳読も行うが、様々な種類の英語の文章を出来るだけ効率的に読むための訓練を行うことをあくまでもこの科目の主眼とする。このクラスは、Aクラス（初級）です。

到達目標

- (A1110)
- 1 英語の文法事項を深く理解することが出来る。
 - 2 英語で社会人としてのコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポートで評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期間中にレポートを提出してもらおう。
2) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Best Practice for the TOEIC L&R Test－Pre-Intermediate－』 吉塚弘他編著 成美堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。
 コミュニケーションに最低限必要な基礎文法をベースに、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能全てのアクティビティを行いながら、{使える}英語の習得を目指す。
 この講義は学生の英語レベルにより初級、上級クラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで450点、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

- A1110
 1 英語の文法事項を深く理解することが出来る。
 2 英語で社会人としてのコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポートで評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 My Hometown [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
3) Unit 2 Hobbies [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
4) Unit 3 Shopping [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
5) Unit 4 Nature Quiz [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
6) Unit 5 Dream House [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
7) Unit 6 Food [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
8) Unit 7 First Date [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
9) Unit 8 Detective Story [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
10) Unit 9 Career [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
11) Unit 10 Parties [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
12) Unit 11 Rules and regulations [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
13) Unit 12 Invention \$ Discovery [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
14) Unit 13 Movie Reviews [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
15) Unit 14 World Records [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト English Ace.山本厚子他[2012] 成美堂	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	ビジネス英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	谷國 晶洋		関連する資格	

授業概要

対面で授業を行う。ビジネスの世界で必要とされる英語の運用力を養成する。リスニングを中心としたビジネス英語総合教材を使った演習では、さまざまなビジネスシーンや話題を取り扱った実用的な文書を用いて、ビジネス英語特有の表現や語彙を身につけ、ビジネス関係の記事では、時事的表現の基礎知識を養う。また、授業で学習したに基づき、課題英作文も行う予定。

到達目標

A2101

1ビジネスに使われる英単語を正確に発音できる。2ビジネス英語のライティングの技術を身につける。3英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)				○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度				○			20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 1 Job Hunting (1) -- Writing a Resume [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
3) Unit 2 Job Hunting (2) -- Writing an Application Letter [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
4) Unit 3 Job Hunting (3) -- Arranging an Interview [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
5) Unit 4 Job Hunting (4) -- A Job Interview [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
6) Vocabulary Quiz 1: At University and Work [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
7) Unit 5 Job Offer [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
8) Vocabulary Quiz 2: A Monthly Paycheck Voucher [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
9) Unit 6 The First Day at Work [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
10) Unit 7 Prepareing to Work [予習] Vocabulary Buildingをやっておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
11) Vocabulary Quiz 3: Office Supplies [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
12) Unit 8 Telephoning -- (1) [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
13) Unit 9 Telephoning -- (2) [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
14) Unit 10 Telephoning -- (3) [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
15) Vocabulary Quiz 4: Telephoning [予習] 練習問題ををやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
授業外学習	
予習は必ず行うこと。課題英作文は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：Business Talk.[2018]城 由紀子 他編著 成美堂	心理学ビジネス英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	ビジネス英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	谷國 晶洋		関連する資格	

授業概要

対面で授業を行う。心理学ビジネス英語 に引き続き、ビジネスの世界で必要とされる英語の運用力を養成する。リスニングを中心としたビジネス英語総合教材を使った演習では、さまざまなビジネスシーンや話題を取り扱った実用的な文書を用いて、ビジネス英語特有の表現や語彙を身につけ、ビジネス関係の記事では、時事的表現の基礎知識を養う。また、授業で学習したことに基づき、課題英作文も行う予定。

到達目標

A2102

1ビジネスに使われる英単語を正確に発音できる。 2ビジネス英語のライティングの技術を身につける。 3英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)				○			50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度				○			10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2) Unit 11 Visiting a Client [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
3) Unit 12 Receiving a Visitor (1) -- Preparatrimon [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
4) Unit 13 Receiving a Visitor (2) -- Meeting at Narita Airp@ort [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
5) Unit 14 Receiving a Visitor (3) -- A Business Lunch [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
6) Unit 15 Receiving a Visitor (4) -- Visiting Factory [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
7) Unit 16 Receiving a Visitor (5) -- Sightseeing in Kyoto [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
8) Unit 17 Working for an International Exhibition [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
9) Unit 18 Prepareing for the First Overseas Business Trip [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
10) Unit 19 The First Overseas Business Trip (1) -- At Los Angeles Airport [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
11) Vocabulary Quiz 5: An Overseas Business Trip [予習] 練習問題ををしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
12) Unit 20 The First Overseas Business Trip (2) -- Welcome Party [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
13) Unit 21 The First Overseas Business Trip (3) -- Presesntation [予習] Vocabulary Buildingをしておく。(60分) [復習] Writingをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
14) Unit 22 Writing a Thank you Letter [予習] Word Bankをしておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
15) Vocabulary Quiz 6: Office Talk [予習] 練習問題ををしておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Role Play
授業外学習	
予習は必ず行うこと。課題英作文は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：Business Talk.[2018]城 由紀子 他編著 成美堂	心理学ビジネス英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	心理学英語文献演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。英文を正確に和訳するための知識・技術の向上を図る。一定量の英文の内容に関してポイントを解説した後、重要な構文を含む文章を中心に訳出してゆく。毎回演習問題を宿題として課す。英文雑誌や大学院入試における過去の英語の問題を主な教材としながら、アカデミックな英語にできるだけ慣れるように多くの文章を読みこなしてゆく。

到達目標

- (A2103)
1. 英文を正確に和訳することができる。
 2. 基本的な英文読解の技術を身につける。
 3. 英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。?

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：英語論文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 心理系の英語の特徴について 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 心理系の英文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 単語レベルの精読の仕方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) センテンスレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) パラグラフレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 大学院入試問題演習 1 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 大学院入試問題演習 2 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 大学院入試問題演習 3 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 大学院入試問題演習 4 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 大学院入試問題演習 5 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 大学院入試問題演習 6 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 大学院入試問題演習 7 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 英語論文リーディング指導の仕上げ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 英語論文リーディング指導のまとめ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリント類を配布する 参考書：宇部フロンティア大学大学院等の過去の問題	心理学英語文献演習

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	心理学英語文献演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。心理学英語文献演習 に引き続き、英文を正確に和訳するための知識・技術の向上を図る。一定量の英文の内容に関してポイントを解説した後、重要な構文を含む文章を中心に訳出してゆく。毎回演習問題を宿題として課す。英文雑誌や大学院入試における過去の英語の問題を主な教材としながら、アカデミックな英語にできるだけ慣れるように多くの文章を読みこなしてゆく。

到達目標

- (A2104)
1. 英文を正確に和訳することができる。
 2. 基本的な英文読解の技術を身につける。
 3. 英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。?

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学英語文献演習 で学習したことの振り返り 英語論文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 心理系の英語の特徴について 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 心理系の英文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 単語レベルの精読の仕方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) センテンスレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) パラグラフレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 大学院入試問題演習 1 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 大学院入試問題演習 2 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 大学院入試問題演習 3 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 大学院入試問題演習 4 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 大学院入試問題演習 5 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 大学院入試問題演習 6 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 大学院入試問題演習 7 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 英語論文リーディング指導の仕上げ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 英語論文リーディング指導のまとめ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリント類を配布する 参考書：宇部フロンティア大学大学院等の過去の問題	心理学英語文献演習

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	瀬崎 譲廣		関連する資格	

授業概要

「人は一人では生きていけない」 このテーマは、文学作品や音楽などあらゆる表現媒体において古くから扱われてきたが、それは人文科学・社会科学と分類される諸学問の究極のテーマでもある。社会学という学問は、社会的な生物である人間の「社会的な」という部分にフォーカスを合わせ、人間（たち）を観察し、分析し、人間社会における法則性を発見しようという学問と言える。この授業では、社会学という学問が生まれるにいたった背景から話をはじめ、学生皆さんの多くが共通に経験した、またこれから経験するであろう社会について概説する。また、現代社会の問題について、社会学の観点からの指摘を紹介する。これによって、「社会学的なものの見方」を理解することを授業の目的としたい。

到達目標

A1301
社会学についての基本的な知識や、考え方の特徴を理解する
社会学の観点から、現代社会が抱える諸課題について理解する

成績評価方法

講義中に課す宿題や小レポート等、および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴	グループワーク
2) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）	
3) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）	
4) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
5) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
6) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）	
7) 社会学の調査方法 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
8) 社会化の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
9) 学校の社会学 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
10) 産業社会と組織の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
11) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
12) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）	
13) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	
14) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
15) 授業全体のまとめ	
授業外学習	
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業中に配布する資料を用いて授業を進める。 教科書は指定しない。 参考書は授業中に適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。

備考

授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二		関連する資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などについての基礎知識を修得する。
 また、法の全体像を認識するために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）の実例から、法の基本的な原理・原則および構造を理解するとともに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を身につける。

到達目標

A1302
 法の主要な領域の基礎知識を理解し、説明することができる。
 法の基本的な原理・原則および構造ならびに法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を理解し、説明することができる。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							67
小テスト、授業内レポート							28
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 法とは何か、社会と法、六法の使い方・読み方。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に試してみる。
2) 契約の成立、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3) 契約の有効要件、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4) 契約の取消し・無効、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5) 契約の主体（自然人と法人） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6) 契約の主体（代理） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7) 契約の効力発生時期、期間の計算 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8) 時効と除斥期間 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9) 損害賠償 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10) 犯罪の成立 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11) 犯罪者の処遇（刑罰制度） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12) 刑事裁判（裁判員裁判） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13) 憲法と人権 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14) 制定法の種類と効力 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15) 制定法の解釈方法 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『ポケット六法令和7年版』（有斐閣、2024年）。 テキストは用いないが、六法は学習に必要。受講にあたっては、『ポケット六法令和7年版』（有斐閣、2024年）を持参すること。第1回目の授業から使用します。	

課題に対するフィードバック

小テストについて実施当日または次回の授業で解説する。

備考

科目名	経済学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	渡邊 利文		関連する資格	

授業概要

本授業は、テレビ・新聞・インターネットなどのメディアで報道される経済社会の事象が理解できるための知識を習得することが目的です。そのためには、経済学の基本的な概念や経済システムの動きを知る必要があります。だから、この授業では、結論を優先した学習を進めます。

経済学の理論は、大きく分けると価格論と所得論から成り立っています。価格理論は、ミクロ経済学とも言われ、企業の活動、消費者の行動、そして、その集合体である市場活動を分析します。市場での価格の動きが順調に進んでいけば、経済活動は良好に循環しているとみるのが基本的な考え方です。ところが、現実にはこの価格変動はいろいろな要因や制約条件によって妨げられています。その原因を分析するのもミクロ経済学の課題です。

所得理論は、マクロ経済学とも呼ばれ、財市場、資産・貨幣市場、労働市場、そして為替市場などを一国全体の経済活動として扱います。これらの活動が順調に進んでいけば景気はよく一国全体の所得（GDP）は増加しますが、そうでないと不況になり所得は減少します。その要因を分析するのもマクロ経済学の課題です。

経済学の学習では、結論に至る過程に多くのスペースを割り当てますが、他方では、問題を解くためには結論を知っていることも重要になります。そこで、経済学の基本的概念をしっかりと抑えたうえで、経済モデルの理解や定義を知るためには、結論を押さえておいてから導出過程を追っていくほうが効率的に学習を進めることができます。

到達目標

(A1303)

経済学に関する基本的な概念や経済活動の特徴・考え方を習得し、社会の現状や課題について理解を深めることができるようになること。

自らが積極的に経済社会の動向について関心をもつことができるようになること（時事に強くなる、ニュースの深層がわかる）。

成績評価方法

授業への貢献度、課題や各章の理解度テストの内容などから、総合的に評価します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○	○				50
宿題、授業外レポート	○			○			25
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 企業行動の分析 費用関数、費用に関する諸概念、利潤最大化行動、供給関数。予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
2) 2. 消費者行動の分析 効用関数、予算制約、効用最大化、需要関数、需要の所得弾力性、需要の価格弾力性、所得効果と代替効果、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
3) 3. 市場均衡と厚生分析 市場均衡、市場の調整過程、余剰分析、パレート効率性、国際貿易と比較生産費説、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
4) 4. 不完全競争（その1） 不完全競争市場、独占市場、寡占市場、独占的競争、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
5) 5. 不完全競争（その2） 不完全競争市場、独占市場、寡占市場、独占的競争、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
6) 6. 市場の失敗と政府の役割（その1）市場機構の長所と市場の失敗、外部効果、公共財の供給、費用逓減産業、情報の不完全性、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
7) 7. 市場の失敗と政府の役割（その2）市場機構の長所と市場の失敗、外部効果、公共財の供給、費用逓減産業、情報の不完全性 予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
8) 8. 国民経済計算と主要経済指標（その1） GDP（国内総生産）、物価指数、景気動向指数、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
9) 9. 国民経済計算と主要経済指標（その2） GDP（国内総生産）、物価指数、景気動向指数、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
10) 10. 財市場の分析（その1） 均衡国民所得の決定、乗数理論、需給ギャップ、IS曲線、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
11) 11. 財市場の分析（その2） 均衡国民所得の決定、乗数理論、需給ギャップ、IS曲線、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
12) 12. 貨幣市場とIS-LM分析（その1） 貨幣供給、貨幣需要、LM曲線、IS-LM分析、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	
13) 13. 貨幣市場とIS-LM分析（その2） 貨幣供給、貨幣需要、LM曲線、IS-LM分析、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
14) 14. 雇用と物価水準 AD曲線、労働市場とAS曲線（総供給曲線）、AD-AS分析、失業、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
15) 15. 国際マクロ経済学 為替レート、国際収支、マンデル=フレミングモデル、予習の必要はない。復習は上記キーワードや課題を確認すること（90分）	学習内容についての小テスト
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストや資料は授業の初めに配布します。従って、既存の出版物は利用しません。学習を深めたい学生は、図書館の経済学の本を利用してください。	

課題に対するフィードバック

備考

各章の学習が修了後、簡単な確認用の小テストを行います。インプットした知識が十分なものかどうかをこのテストで確認してください。
小テストは、格好の復習材料です。しっかり何度も再学習に利用してください。
この小テストは、授業評価の対象としますので、定期試験は実施しません。

科目名	経営学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	渡邊 利文	関連する資格		

授業概要

日本には約350万社の企業が存在しています。その内の99.7%は中小企業です。大企業は0.3%しかありません。従業員は約7割が中小企業で働き、日本の年間の総付加価値（GDP）の5割強は中小企業が生産しています。従って、中小企業のビジネス活力が日本経済の活力を支えているといっても過言ではありません。しかも、この中小企業の多くが現在ほとんど株式会社の企業形態をとっています。だから、経営学の基本的な知識を学ぶためには、まず、株式会社の基本的な知識を身につけておく必要があります。

そこで、この授業では、「会社法」をベースにして株式会社の構造や機能を中心に学習し、株式会社の基本的知識を習得します。そして同時に、株式会社の社会的役割と責任についても学びます。

到達目標

(A1304)

入学前に経営的知識がなかった学生であっても、「株式会社とは何か」を理解し、経営学的な見方、とらえ方、考え方を十分に身につけ、他者に説明することができるようになることです。

成績評価方法

授業内に小テストを実施し、復習課題の提出等にもとづき、総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 株式会社と持分会社の違い 合名会社、合資会社、合同会社の特徴と株式会社との違い予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
2) 2. 株式会社の種類（機関設計） 「株式譲渡制限の有無」「大会社・大会社以外」の2基準で株式会社の形態を4つに分類、予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
3) 3. 株式会社の種類（機関設計）大企業の監査機能を強化する制度として、指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社がある予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
4) 4. 株主と株主総会 株主の権利と役割、株主総会の種類と特徴予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
5) 5. 取締役と取締役会 取締役の義務と役割、取締役会の特徴予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
6) 6. 監査役と監査役会 監査役の特権と義務、監査役会の特徴予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
7) 7. 会計監査人、会計参与 会計監査人と会計参与の特徴予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
8) 8. 株式会社の設立 発起設立と募集設立の特徴と相違 定款への絶対的記載事項と相対的記載事項 予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
9) 9. 株式会社の設立その2 発起設立と募集設立の特徴と相違 定款への絶対的記載事項と相対的記載事項予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
10) 10. 株式の種類と授権資本制度 9つの種類株式と株式併合と株式分割、新株予約権等の特徴 資本金と剰余金の特徴について予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
11) 11. 株式の種類と授権資本制度その2 株式併合と株式分割、新株予約権等の特徴 資本金と剰余金の特徴について予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
12) 12. 組織再編その1 事業譲渡、合併、会社分割、株式交換と株式移転の特徴について 予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
13) 13. 組織再編その2 有限責任事業組合（LLP）と中小企業等協同組合の特徴 予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	小テストの実施と解説
14) 14. 独占禁止法と製造物責任法（PL法）その1 不当な取引制限と不公平な取引方法予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	
15) 15. 独占禁止法と製造物責任法（PL法）その2 不法行為とPL法との違い、不正競争防止法との関連性 予習は必要なし。復習は上記課題やキーワードを再度確認すること（90分）	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>特定のテキストは指定しません。授業中にテキストのコピーやレジメを配布します。</p> <p>参考書は図書館の本を利用してください。</p> <p>株式会社や会社法、企業形態論などの本を参照してください。</p> <p>授業中に数回の小テストを実施しますので、学期末の試験は行いません。</p>	<p>経営組織論、組織行動論、経営戦略論、マーケティング論、経済学</p>

課題に対するフィードバック

テキストのコピーを配布します。授業の後も、しっかり熟読し、復習してください。テストは返却し翌週の授業で解説します。

備考

科目名	地域文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	内田 鉄平	関連する資格	学芸員 高等学校教諭(地理歴史) 専修免許	

授業概要

総論では「文化とは何か」について述べた上で、比較文化論的な視点から日本文化の大づかみな特徴を述べる。各論では、山口県及び宇部市の文化をはじめとする日本の文化のさまざまな側面をとりあげて、文化との関連で日本社会の構造的な特性を理解してもらうようにする。(実務経験について)専修大学において助手として勤務し、日本史・世界史双方の視点から文化史を説明することができる。複数の資料館勤務のなかで展示業務を経験し、地域文化について実例を交えて説明することができる。宇部市における文化振興・文化創造に係る委員を歴任し、宇部市の地域文化について説明することができる。

到達目標

A1305
日本独自の文化について世界史的な視野及び地域独特な風習や伝統を踏まえ理解する。特に宇部市の地域文化について市の歴史や産業を参考に理解する。

成績評価方法

期末試験と講義の参加意欲で評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 香川昌子と女子教育 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
2) 食文化 和食の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
3) 出帆文化の隆盛 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
4) 道具と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
5) 居住空間-竪穴住居から文化住宅まで 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
6) 文化を伝える-山口県の方言 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
7) 祭礼と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
8) 北浦の捕鯨と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
9) 芸能文化と山口県 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
10) 山口・宇部の食文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
11) 宇部市の発展と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
12) 彫刻のまち宇部の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
13) 宇部市の文化財 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
14) 宇部村から宇部市へ-石炭産業と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
15) 総論（講義全体を通して学生の理解度を考慮して適宜に補足説明を行う）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	講義全体の総括として質問を受ける。
授業外学習	
講義で適宜に参考文献を紹介しますので、余暇の時間に余裕があれば読んでもらう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリントを配布します。	

課題に対するフィードバック

希望者がいれば、期末試験の成績を開示します。

備考

科目名	ジェンダー・人権論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二		関連する資格	

授業概要

判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）を理解する。
また、子どもの権利やジェンダーに関する諸問題についても考える。

到達目標

A1306

- 立憲主義の意義を理解する。
- 主要な人権の内容を理解する。
- 子どもの権利およびジェンダーの観点から人権を理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							65
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 憲法と人権 【予習】立憲主義について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 人権の分類（自由権・参政権・社会権）とその概要 【予習】憲法という語を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 子どもの権利の国際的展開 【予習】子どもの権利の歴史について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 子どもの意見表明権 【予習】日本における子どもの権利の受容状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 子どもの権利の保障構造 【予習】子ども・父母・国の三者関係について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
8) 女性の権利と人工妊娠中絶 【予習】日本の人工妊娠中絶をめぐる法状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
9) 女性の権利と社会的慣行 【予習】日本における「氏」をめぐる法状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 法の下の平等 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 法の下の平等 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 精神的自由権 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 精神的自由権 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
14) 経済的自由と社会権 【予習】テキストTheme10および11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
15) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用します。また、事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門 [第6版]』（有斐閣、2020年）。その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。	

課題に対するフィードバック

小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。

備考

科目名	時事問題講読						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1年	前期			
担当者名	松本 治彦		関連する資格				
授業概要 ディプロマポリシーのうち、「知識の応用力と判断力」を高めるための演習です。最初の1、2回はビジネスの各分野（例えば、エネルギー、車、宇宙、農業、AIなど）の現状と将来性について概要を説明する。3回目より時事問題で各自が興味をもったテーマを選んでエビデンスに基づいてプレゼンテーション（そのテーマの現状と将来性）を行い、議論を通じて認識を深める。なお、エビデンスについては、新聞やネットの情報を使って、参考となる統計値などを用いて、作成する。加えて、各分野の将来性については心理面からのアプローチについても言及する。 授業の評価は、エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。							
到達目標 A1307 時事問題について、自分の考えを主張できるようにする。また、刻々と変化する時事問題についての知識を常にアップデートできるように実力をつける。				成績評価方法 各回のプレゼンテーションへの参加、質問などの積極的な取り組みを重点的に評価する。また、資料の作成について評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 科学技術と社会とのかかわりについて考えていくための考え方の枠組み、スキル、背景知識などを身に付けてもらための基本的な話をします。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 科学技術についてよく考えるための手助けとして、クリティカルシンキングと科学技術社会論をミックスしたものを話す。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 議論の吟味の大まかな流れとして（1）議論の特定（2）言葉の意味の確定（3）前提の検討（4）推論の検討について説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 予防原則、思いやりの原理、EBM（根拠に基づく医療）、統計リテラシー、シミュレーションの信頼性などについて説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) ウイルスについての立ち位置について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) エネルギー；化石燃料、再生可能エネルギー、原子力、人工光合成などについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 地球温暖化について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 自然災害について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 宇宙産業について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) AI・ロボットについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 量子論、量子コンピューターなどについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 食糧について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 医療について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) メタバースについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 全体の総まとめをする。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	時事問題講読

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	時事問題講読			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

最初に（第1回）、 の取り組み状況と達成度について議論を通じて理解を深めた上で、 の取り組みを始める。 の取り組みをさらに掘り下げた内容を盛り込んで、エビデンスを作成し、プレゼンテーションを行い、議論を通じて時事問題への考え方、対処法について学修する。この授業終了時には、ディプロマポリシーのうち、「知識の応用力と判断力」が高まっていることを目標とする。

授業の評価は、エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

到達目標

A1308

新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 科学技術と社会とのかかわりについて考えていくための考え方の枠組み、スキル、背景知識などを身に付けてもらうための基本的な話をします。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 科学技術についてよく考えるための手助けとして、クリティカルシンキングと科学技術社会論をミックスしたものを話す。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 議論の吟味の大まかな流れとして（1）議論の特定 （2）言葉の意味の確定 （3）前提の検討 （4）推論の検討について説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 予防原則、思いやりの原理、EBM（根拠に基づく医療）、統計リテラシー、シミュレーションの信頼性などについて説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) ウイルスについての立ち位置について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) エネルギー；化石燃料、再生可能エネルギー、原子力、人工光合成などについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 地球温暖化について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 自然災害について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 宇宙産業について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) AI・ロボットについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 量子論、量子コンピューターなどについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 食糧について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 医療について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) メタバースについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 全体の総まとめをする。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	時事問題講読

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	祐村 稔子	関連する資格		

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになっている。本講義では、高校までの生物をベースに、生体の持つ機能や遺伝の仕組み、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について学ぶ。

到達目標

A1309

1. 生命のなりたちを分子のレベルで理解する。
2. 人体のなりたちと統合のしくみを理解する。
3. 生命をめぐる現代の課題について正しく理解し、各自の考えを明確に表現する。

成績評価方法

ミニ・レポートおよび最終試験結果をあわせて総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生命、その起源と進化の道のり 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
2) 生命の最小単位「細胞」：細胞の構造と細胞小器官 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
3) 生命を演ずる分子たち1：生体内で働く分子いろいろ 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
4) 生命を演ずる分子たち2：脂質と生体膜 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
5) 生命を演ずる分子たち3：アミノ酸とタンパク質 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
6) 生命を演ずる分子たち3：タンパク質は働き者 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
7) 生命を演ずる分子たち4：生命の設計図：ヌクレオチドと核酸 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
8) 生命を演ずる分子たち4：遺伝子の発現 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
9) 病気との闘い：DNAの傷害と修復 がんの生物学 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
10) 遺伝子組換え技術とその応用、ヒトの遺伝と遺伝病 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
11) 生命は動く、細胞は動く：細胞骨格と細胞運動 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
12) 多細胞体内における情報伝達機構1：ホルモンの働きと恒常性 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
13) 多細胞体内における情報伝達機構2：神経系の働きと脳 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
14) 免疫のしくみ 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
15) 生命活動とエネルギー：太陽・光合成・細胞エネルギー・化石燃料 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
授業外学習	
<p>毎回、授業に関連した参考資料を配布します。これを読んだの考察や感想、あるいは指定したテーマに関しての小レポート作成をホームワークとします。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：伊藤明夫著「いのちの科学」（培風館）</p>	

課題に対するフィードバック

小レポートへのコメント集を配布

備考

科目名	健康科学（食と健康）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	丹 信介、田坂 克子		関連する資格	

授業概要

本授業は対面授業とする。
 本講義では、健康の定義を明らかにし、生涯を通して健康なライフスタイルを確立するための方法を身につける。本講義では、食および運動と生活習慣病との関連を中心に上げ、栄養学および食品学の観点から食と健康の関係を考察し、食生活の重要性を理解する。また、健康の維持・増進における身体活動・運動の重要性を運動生理学の観点から理解し、運動と栄養との係わりを含め有効な身体活動・運動の実践方法について理解する。

(丹 信介/8回)

現代生活における健康と身体活動・運動の重要性について理解し、ライフステージにおける健康維持のための身体活動や運動のあり方を考える。

(田坂 克子/7回)

健康づくりと食生活の重要性について理解し、生活習慣病予防に重要な食生活改善の取り組みや食の安全性について考える。

実務経験：田坂克子は管理栄養士として、山口大学医学部附属病院で、入院外来患者に対して栄養治療業務や住民に対して栄養教育などの業務に従事した経験から、学生に健康について栄養面から講義する。

到達目標

A1310

具体的に以下の観点から到達目標を設定している。

【知識・理解の観点】

1. 現代社会における健康問題について説明できる。 2. 現代生活における健康と栄養、身体活動・運動の意義について説明できる。 3. 生活習慣病の予防、介護予防や医療費の増大への栄養、身体活動・運動の寄与について説明できる。 4. 栄養、身体活動・運動と心身の関連について説明できる。 5. 健康な生活を送るための具体的な栄養、身体活動・運動の実践方法について説明できる。

【思考・判断の観点】

1. 授業で取り上げた各領域について、自分の意見を論理的に述べるができる。

【関心・意欲・態度の観点】

1. 健康、栄養、身体活動・運動への関心を広げ、問題意識を高めて、自らその解決方法を探ろうとすることができる。 2. 日常生活の中で健康問題や栄養、身体活動・運動について主体的に考えることができる。

【技能・表現の観点】

1. 現在および将来にわたり、健康保持増進のための方策を立て実践することができる。

成績評価方法

授業態度、レポート及び試験等により総合的に評価する。

具体的には以下とする。

1. 授業内で発表、レポートを少なくとも数回は行う。
2. 関心のある健康問題に関するレポートを課すことがある。
3. 中間および最終試験を実施する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、健康づくりの捉え方、生活習慣病と身体活動・運動（循環器疾患を中心に）（担当：丹 信介）【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	ペア・ワーク
2)	生活習慣病と身体活動・運動（脂質異常症、高血圧、糖尿病、がんを中心に）（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
3)	介護予防と身体活動・運動（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	ペア・ワーク
4)	介護予防につながる身体活動・運動実践方法（認知症、筋量の増加を中心に）（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	軽運動の実習
5)	介護予防につながる身体活動・運動実践方法（骨量の増加、低下予防を中心に）（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	ペアワーク
6)	生活習慣病予防につながる身体活動・運動実践方法（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	簡単な測定実習（脈拍数の測定）
7)	肥満・メタボリックシンドロームと身体活動・運動（担当：丹 信介）【予習】前時に提示したキーワードについて調べておく（30分）【復習】本時の学習内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	簡単な演習（消費エネルギー計算）
8)	健康づくりと身体活動・運動についての総括（担当：丹 信介） 中間テスト 【復習】これまで学習した内容について振り返る（60分）	
9)	健康づくりと食生活（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
10)	食生活の変遷と栄養の問題点（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
11)	生活習慣病の予防(1)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
12)	生活習慣病の予防(2)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	グループワーク
13)	食生活改善への施策（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
14)	食の安全性と表示（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	小テスト
15)	総括（担当：田坂克子） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
授業外学習		
当該授業の前週に、次週の授業の資料配布と参考文献、あるいはキーワードを提示する。それについて予習を行い授業に参加すること。 授業内容について毎回の授業時の最後、あるいは授業後にまとめておく。それらを参考に課題レポート（授業内・宿題）を作成し提出する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用せず、適宜、書き込み式資料を毎回配布する。		

課題に対するフィードバック

提出された課題レポートについては翌週コメントを付けて返す。

備考

私語は慎んでください。また、携帯電話の使用は原則禁止です。

科目名	人体の構造と機能及び疾病			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

私たちの身体の中にはさまざまな臓器があり、生命を維持するためのそれぞれ大切な機能を果たしている。それらの機能は全体として体内の恒常性（ホメオスタシス）を保つためにお互いに協力し合って機能している。その調節が破綻し、恒常性が失われた状態が疾病である。心と身体は密接に関係しており、心理職の実践において適切に対応するためには身体の健康と疾病に関する基本的知識を獲得することは不可欠である。この授業では人体の構造と機能及び疾病に関する基本的知識を学ぶ。医師としての実務経験をもとに人体の構造と機能及び疾病に関する授業を行う。

到達目標

A1311a

1. 人体の解剖と生理を理解する。
2. 主な症候が起こる仕組みを理解する。
3. 心理的な支援が必要な主な疾病の概要を理解する。

成績評価方法

試験などによる総合評価

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ小テスト・期末試験の得点に関わらず不合格とする。

成績は出席状況、毎回実施する小テストの成績、期末試験の成績により総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 人体の構造と機能 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 2. 疾病の考え方 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 3. 主な症候と検査 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 4. 消化器系 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 5. 循環器系 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 6. 呼吸器・血液系 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 7. 内分泌・代謝系（1） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分）【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 8. 内分泌・代謝系（2） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 9. 腎・泌尿器系 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 10. 脳・神経系（1） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 11. 脳・神経系（2） 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 12. 皮膚・感覚器系と疾病 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 13. 依存症 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 14. 生殖系と疾患 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 15. 筋・骨格系と疾患 【予習】教科書、授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テスト選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと 復習では、小テスト選択肢の ×の理由を自分の言葉で説明できるようになること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は佐々木司編著「公認心理師ベーシック講座人体の構造と機能及び疾病」（講談社）を指定する。 参考資料として、授業ノート、小テストの問題と解答をグーグルクラスルーム（クラスコード「vswplbc」）に掲載しているため参照すること	

課題に対するフィードバック

小テストについて正解と解答のポイントを解説する。
前回の授業後の質問について、次回の授業の初めにフィードバックする。

備考

科目名	動物と心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	高岡 祥子、齋藤 慈子、高野 裕治 、堀 裕亮、山本 真也	関連する資格		

授業概要

本授業は遠隔で実施する。心理学は一般的に、ヒトの心や行動の全般を扱う学問領域とされていますが、研究対象はヒトだけではなくありません。この授業では、心理学で動物を対象に研究する意義について知ることからはじめ、次に、各分野の専門家が様々な動物の多様な心のはたらきや、動物を対象にした研究から分かってきたこと、心理学における動物の役割などについて幅広く紹介します。動物を対象とした研究には私たちと生活をともにするコンパニオン動物（ネコ、イヌ）、人の生活をサポートしてくれる使役動物（ウマなど）、私たちとは生活圏を異にする野生動物によるものがある。これらの三つの視点で、動物の心の研究を知ること、それぞれの動物の知性と人間の知性を比較することを試みる。そして、私たち人間の心と社会の独自性を知ることを目指していく。さまざまな動物の心にふれた後に、動物の心をどのように理解していくのかに役立つユクスキュルの環世界論について学ぶ。そして、人間と本講義全体を通して、様々な視点から研究されてきた動物行動について知ることによって、心についての視野を広げ、私たち人間の心と社会のあり方について考えるきっかけにしてみたいと思う。

到達目標

A1312
心理学という学問領域において、動物を対象に研究することの意義を知り、動物を対象とした研究にはどのようなものがあるのか、そこから何が分かってきたのか理解する。

成績評価方法

最終試験で評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 担当：齋藤慈子 イントロダクション 動物の心を探る意義 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
2) 担当：齋藤慈子 ネコの対ヒト社会的認知能力 ~ネコはヒトのことをどのくらいわかっているのか~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
3) 担当：齋藤慈子，ゲストスピーカー：永澤巧 ネコとのかかわりによって生じるヒトの心理・生理・社会的な影響 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
4) 担当：高岡祥子 イヌとヒトの関係 ~イヌを対象に研究する意義~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
5) 担当：高岡祥子 イヌの対ヒト社会的認知能力 ~イヌはヒトのことをどのくらい分かっているのか~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
6) 担当：高岡祥子 イヌとのかかわりによるヒトの心の変化 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
7) 担当：堀裕亮 動物の個性と遺伝子（1） 動物の個性をどう測定するか 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
8) 担当：堀裕亮 動物の個性と遺伝子（2） 遺伝子は動物の個性にどのように影響するのか【復習】 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
9) 担当：堀裕亮 動物の個性と遺伝子（3） まとめと今後の展望 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
10) 担当：山本真也 知性と社会性の進化 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
11) 担当：山本真也，ゲストスピーカー：未定 知性と社会性の進化 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
12) 担当：山本真也，ゲストスピーカー：入江尚子 アジアゾウの社会と知性 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
13) 担当：高野裕治 動物の心をどのように考えるか：ユクスキュルのダニ 【復習】教材の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
14) 担当：高野裕治 人間の心と動物の心の間に線は引けるのか？：ユクスキュルの環世界論【復習】教材の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
15) 担当：高野裕治 さまざまな動物の心の間に線を引けるのか？「単純な環世界」とは何か？ 【復習】教材の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
授業外学習	
配布資料の内容を理解し、疑問点やさらに深く知りたい内容について自分で調べて整理する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
1?1 2回は配布資料。1 3-1 5回はユクスキュルとクリサート著の「生物から見た世界」（岩波文庫 青943-1）を使用する。	

課題に対するフィードバック

質問等には授業で対応する

備考

科目名	地球の環境			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

到達目標

A1313

自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消失と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	統計学基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	松本 治彦	関連する資格	認定心理士	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、Classroomを使って資料の配布を行います。
 この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「心理学の基礎的思考方法」を学ぶための授業です。
 受講者はまず最近、重要度が増している「統計学とAI」の関係について学ぶ。次に統計学の歴史について深く学ぶ。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。
 統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに役立たせる。

到達目標

A1314b
 統計値の科学的意味を的確につかむ。グループ討議を通じて、コミュニケーション能力を發揮する。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせることができるような実力をつけるための基礎力を身に付ける。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 統計学とAI,生成AI 予習；統計学とAIの関係について概観する（30分）。復習；統計学とAIの部分についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 人工知能とは 予習；人工知能の部分について深く思考する（30分）。復習；人工知能の部分を整頓しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 統計学の歴史 予習；統計学の歴史について概観する（30分）。復習；統計学の歴史について再確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 統計学の考え方 予習；統計学の考え方、データの科学的見方の部分について概観する（30分）。復習；統計学の考え方、データの科学的見方のチェックをしておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 把握・予測・洞察の統計学 予習；予測・洞察の統計学を概観する（30分）。復習；予測・洞察の統計学について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) ジョン・スノウと疫学 予習；疫学の歴史について概観する（30分）。復習；疫学の歴史について確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) データの科学的な見方 予習；データの科学的な見方について調べておく（30分）。復習；データの科学的な見方を確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 具体例で統計学を学ぶ「度数分布・分割・図」 予習；度数分布・分割・図の部分概観する（30分）。復習；度数分布・分割・図の部分を確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 具体例で統計学を学ぶ「平均値・標準偏差・偏差値」 予習；平均値・標準偏差・偏差値について概観する（30分）。復習；平均値・標準偏差・偏差値について再度、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 具体例で統計学を学ぶ「範囲・その他の数値」 予習；範囲・その他の数値について概観する（30分）。復習；範囲・その他の数値について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 正規分布 予習；正規分布について概観する（30分）。復習；正規分布について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 推定と検定 予習；推定と検定について概観する（30分）。復習；推定と検定について、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 詳しい検定 予習；詳しい検定について調べておく（30分）。復習；詳しい検定について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 分散分析・多変量解析 予習；分散分析・多変量解析について概観する（30分）。復習；分散分析・多変量解析についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿った、資料の該当単元を熟読してきてください。講義資料を復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。。	心理統計学 情報処理演習、

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	脳科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	小野 洋平		関連する資格	

授業概要

脳は行動、認知、生理、感情等、こころの働きと深くかかわる器官である。そのため、脳の器質の変化や情報伝達に問題を抱えた場合、こころにも影響が及ぶことになる。例えば、うつ病などの精神疾患の発症や、症状緩和にも脳が関わり、ストレスを感じれば、感情のみならず脳活動や身体的反応も変化する。

一方、心は直接観察できないものの、心の働きと関連する脳活動は、様々な測定法を用いて視覚化可能である。視覚化された活動や活動部位から、こころの働きや状態を把握したり、心理的なケアにも役立てられるため、本講義では、まず脳の構造や機能を学ぶ。次に、こころの働きを理解するための測定法を学び、種々の心理現象を心理学と脳科学の2つの視点で考える講義を展開する。

なお、本授業は原則対面で実施する。

到達目標

A1311

1. 脳の構造と機能について説明できる。
2. 脳機能の測定法を理解し、心の働きを調べる方法を考えることができる
3. 脳機能と行動・心の関連性を理解し、種々の事例を脳科学と心理学を関連付けて考察できる。

成績評価方法

小レポート・小テスト・課題
期末試験

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			25
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		15
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション 脳科学と心理学の関連性 【予習】脳科学に関する基礎知識の確認を行う（90分） 【復習】講義内容と到達目標に基づいて自分なりの学習目標を立てる（90分）	授業内課題 体験学習
2)	脳の構造と機能 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
3)	大脳新皮質 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
4)	大脳辺縁系 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
5)	脳幹 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
6)	小脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
7)	脳機能の測定法 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
8)	脳の情報伝達 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
9)	脳の情報伝達 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
10)	脳の発達の变化 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
11)	脳の器質的变化 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
12)	感情心理学と脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
13)	パーソナリティ心理学と脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
14)	臨床心理学と脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】選択問題を自作する。提案された事後学習を行う（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
15)	犯罪心理学と脳 【予習】事前資料を熟読し、キーワード等を調べる（90分） 【復習】これまでのノートや資料を整理・熟読し、自己理解度を確認する（90分）	授業内課題 体験学習 小テスト
授業外学習		
自身の知識習得の程度に合わせて、高校までの生物や保健の授業を復習する。 興味関心のある心理学分野の概論書を、講義内容と関連づけながら読む。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
本講義では教科書は用いない。適宜資料を配布する。 また、参考図書は必要に応じて講義内で紹介する。		神経・生理心理学，身体の構造と機能および疾病

課題に対するフィードバック

可能な限り授業内でフィードバック、講評等を行う。

備考

【受講上の注意点】

本講義では、プレゼンテーションや資料において、脳の解剖画像等を用いることがある。この点を理解の上、履修を検討すること。

講義内で電子機器を用いたアクティブラーニングを行うことがある。PCやタブレット、スマートフォンなど、インターネットにアクセスできる機器を持参の上受講すること。

講義内で教員との相互コミュニケーションを行うので、積極的に参加すること。

科目名	心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	木元 卓也、榎本 俊哉、大石 英史、三島 瑞穂、小野 洋平、脇 貴典	関連する資格		

授業概要

看護・保健領域の専門職として働くにあたり、臨床現場で役立つであろう知識とエッセンスを中心に、心理学の基礎的知識について学ぶ。スクールカウンセラーとして、教育現場の心理相談業務に従事した経験をもとに、昨今の教育的課題（いじめ問題、不登校等）への対応を指導する。

到達目標

(A1316) (B1217)

- 看護・保健領域で、心理学の知見を活かし、専門的関わりの質を高める工夫をすることができる。
- 心理学的知見を活かした援助を行う方法を理解できる。

成績評価方法

小レポート、受講態度で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート		○		○			30
授業態度・授業参加度			○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学とは何か？～こころの仕組みを知ろう～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
2) 子ども虐待を通して考えるこころの発達 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
3) 学校と集団心理 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
4) 恋愛と結婚～人はパートナーに何を求める？～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
5) デートDVとドメスティックバイオレンス 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
6) 家族の心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
7) メンタルヘルスとリーダーシップ～働く人のこころの健康～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
8) 人はなぜ不安やパニックになるのか？～こころの疾患と精神障がい～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
9) 孤独と文化 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
10) 多様性と性についての心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
11) なぜ人間には感情があるのか？ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
12) 同調圧力と自己判断 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
13) あおり運転から考える交通心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
14) 犯罪加害者への支援と心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
15) まとめ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	小レポート
授業外学習	
毎回、配布する資料を読み返し復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。	コミュニケーション論、生涯発達心理学

課題に対するフィードバック

質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

科目名	芸術と心理			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	榎本 俊哉、三島 瑞穂		関連する資格	

授業概要

(概要)

芸術とは、表現者あるいは表現物と鑑賞者が相互に作用し合うことにより、精神的・感覚的な影響を受ける表現活動のことであり、私たちのこころの営みそのものあるともいえる。そして芸術には、文芸（言語芸術）、美術（造形芸術）、音楽（音響芸術）、演劇・映画（総合芸術）など様々な表現の様式がある。この講義ではこれらの芸術を鑑賞したうえで、心理学諸領域、特に臨床心理学の観点から受講生とともに考える。このように本講義では芸術に関する好奇心を高め、表現者や表現物について臨床心理学を含む多様な観点を得ることで、芸術をより豊かに鑑賞できるようになることを目的とする。

(榎本俊哉 7回)

社会的に広く認知されている文学（小説・俳句など）、絵画、音楽、アニメーション、演劇、映画、などの芸術を紹介・鑑賞し、主に臨床心理学的観点から受講生とともに考える。また、受講生からも芸術鑑賞や表現活動に関する報告をしてもらい、受講者全体で共有して芸術をより多様に、より豊かに鑑賞していく。

(三島瑞穂 8回)

8、9回目の講義（アート思考）では、既成概念に捉われずに自分なりにアート作品を自由に捉え、湧いてきた疑問や発想を他者と交換する。10、11回目の講義では、社会問題の提起を行っているアート作品に触れ、その意図や目的を考察し、アートの社会的役割や影響を検討する。12、13回目の講義で技巧や流行に囚われない自由な表現であるオールブリュットに触れる。感じたままに色や動きで表現し、表現の楽しさや心地よさを体験する。また、14、15回目にコラージュ技法を用いて自分が興味・関心のあるテーマを選び、誰かに何かを伝えるための作品を制作、発表する。

到達目標

(A2301)

芸術と心理について学問し、知的好奇心を高める。
 芸術をより豊かに鑑賞できるようになる。
 アートによる心理的体験を通して、自分なりの作品の捉え方、楽しみ方を獲得する。
 自分なりの作品の解釈や発想を表現し、対話の中で互いの違いを味わう。
 アーティストの意図や問題提起に対する想像力を働かせる。

成績評価方法

主としてレポートおよびプレゼンテーションにより評価する。なお、規定回数以上の出席がない場合、レポートの提出がない場合には単位認定しない。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 芸術と心理について（榎本担当：第1～7回） 【復習】講義内容の復習（60分）	
2) アニメーション・絵画と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
3) 音楽と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
4) 演劇・映画と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
5) 演劇・映画と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
6) 小説と心理 【復習】講義内容の復習（60分）	グループワーク
7) 芸術鑑賞や表現活動に関する報告会 【復習】講義内容の復習（60分）	プレゼンテーション
8) （三島担当：第8～15回） アート思考1-1. アート作品に対して自分なりの捉え方で自由に発想する。 【予習・復習】アート作品について、親しい人と対話をする。（60分）	グループディスカッション
9) アート思考1-2. 対話を通してアートによる心理的体験を深める。 【予習・復習】アート作品について、親しい人と対話をする。（60分）	グループディスカッション
10) アート思考2-1. 社会問題の提起を行っているアート作品 【予習・復習】アート作品が、なぜそこにあるのか、何を伝えようとしているのか等について、親しい人と対話をする。（60分）	グループディスカッション
11) アート思考2-2. 社会問題の提起を行っているアート作品 【予習・復習】アート作品が、なぜそこにあるのか、何を伝えようとしているのか等について、親しい人と対話をする。（60分）	グループディスカッション
12) アールブリュット1: 技巧や流行に囚われない自由な表現に触れる。 【予習・復習】自然や人、物に対する気づきを大事にし、心が動く体験をした際、表現してみる。（60分）	演習
13) アールブリュット2: 音楽や自然に触れながら、感じたままに表現してみる。 【予習・復習】使いたい素材や文房具、楽器を探し、持参する。心が動く体験をした際、表現してみる。（60分）	演習
14) アート思考3-1. 自分が興味・関心のあるテーマを選び、表現を試みる。 【予習・復習】興味のあるテーマについて考えておく。関連する雑誌やチラシ、Webサイトのコピーを持参する。制作の続きをする。（60分）	演習・グループワーク
15) アート思考3-2. 作品を発表し、表現者の意図理解と自己表現の内省を深める。 【予習・復習】関連する雑誌やチラシ、Webサイトのコピーを持参する。体験を振り返る。（60分）	演習・グループワーク
授業外学習	
<p>【榎本担当分】 芸術と心理に関するレポート及びプレゼンテーションを課す。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>【榎本担当分】 あらゆる芸術（表現者および表現物）</p> <p>【三島担当分】 教科書は使用しない。参考図書は適宜講義時に紹介する。</p>	<p>【榎本担当分】 臨床心理学を主とする心理学諸領域</p> <p>【三島担当分】 デザイン心理学、表現アートセラピー</p>

課題に対するフィードバック

課題についてはプレゼンテーションする機会を設け、このプレゼンテーションを受講生全員で鑑賞する。

備考

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信	関連する資格		

授業概要

(本授業は対面実施する。)

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下二点を支軸にして講義を展開する。

- (1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。
- (2) ものごとを広く(多面的に)深く(根源的に)考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

A1318

- (1) 哲学の根本問題について考えてみる。
- (2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト（pp. 16-21）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
2) 序論(1)： 哲学とは何か 【予習】テキスト（pp. 22-26）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
3) 序論(2)： 哲学と哲学史 【予習】テキスト（pp. 26-32）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
4) 神話と論理(1)： 始原への問い 【予習】テキスト（pp. 32-36）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
5) 神話と論理(2)： 全体への問い 【予習】テキスト（pp. 36-40）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
6) 知識と知恵(1)： 無知の知 【予習】テキスト（pp. 40-45）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
7) 知識と知恵(2)： 真の知 【予習】テキスト（pp. 45-52）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
8) 科学と哲学(1)： 知の構造とその諸相(1) 【予習】テキスト（pp. 52-58）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
9) 科学と哲学(2)： 知の構造とその諸相(2) 【予習】テキスト（pp. 58-67）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
10) 自然と人間(1)： 自然概念の変遷 【予習】テキスト（pp. 67-70）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
11) 自然と人間(2)： 生命と非生命 【予習】テキスト（pp. 71-76）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
12) 存在と意識(1)： 存在論と認識論 【予習】テキスト（pp. 77-82）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
13) 存在と意識(2)： 言語・思考・世界 【予習】テキスト（pp. 83-86）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
14) 超越と構想(1)： 超越と内在 【予習】テキスト（pp. 87-97）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
15) 超越と構想(2)： 問いの可能性 / 講義全体のまとめ 【予習】テキスト（pp. 97-106）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
授業外学習	
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読（予習）・再読（復習）する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： プラトン『ソクラテスの弁明』（光文社古典新訳文庫）、光文社、2012年	人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック

テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。

備考

期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	倫理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	田中 智輝	関連する資格		

授業概要

倫理学は、道徳的行為や性格の「正しさ」や「善さ」の根拠を、できるだけ合理的かつ哲学的に問う学問である。本授業では著名な哲学者・宗教家の思想を取り上げ、倫理学の基本的な考え方を紹介すると同時に、現代の応用倫理学も考察する。

到達目標

A1319

1. 倫理学理論を用いて推論することができる
2. 現代社会が抱えている倫理的課題について関心を持ち、課題に向き合うことができる
3. 倫理的な方法論を用いて課題を分析することができる

成績評価方法

- ・知識：50%
- ・態度：10%
- ・技能：40%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 本講義の概要：倫理とはなにか？ 【予習】倫理とは何かについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
2) 倫理学とはどのような学問か？ 【予習】倫理学の概要について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
3) 義務論と功利主義 【予習】義務論と功利主義について疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
4) 義務論の考え方を学習する。 【予習】義務論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
5) 功利主義の考え方を学習する。 【予習】功利主義について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
6) 義務論と功利主義の考え方を事例を通じて検討する。 【予習】事前に配布する資料をもとに、論点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
7) 正義論の考え方を学習する 【予習】正義論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
8) ケアの倫理学の考え方を学習する 【予習】ケアの倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
9) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
10) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
11) 現代社会における倫理的課題：死をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
12) 現代社会における倫理的課題：科学技術による生への介入 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
13) 現代社会における倫理的課題：未来倫理学 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
14) 現代社会における倫理的課題：AI技術と倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
15) 総括：本講義のまとめ 【予習】倫理学を学ぶことの今日的意義について考え、要点を整理する（45分）【 復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
授業外学習	
講義内で示した課題について事前に準備する。講義の内容を踏まえたレポート等の作成を行なう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
講義内で適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

課題、レポートについてのフィードバックは基本的に講義内で行う。

備考

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ヒトの心・サル的心 文化人類学と自然人類学 予習「ヒトと他の生物の違いは何でしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
2) フィールドワークの泣き笑い 文化人類学の方法 予習「身に覚えのないことで地元の人に非難されたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
3) 調査されるという迷惑 宮本常一先生と調査地被害 予習「周防大島出身の宮本常一先生を知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
4) すべてのものにカミが宿っている アニミズムの世界 予習「人間以外の生き物に声をかけることがありますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
5) 日本が単一民族国家ではない証拠 アイヌ民族との出会い 予習「1990年の北海道庁のアンケートの結果アイヌ民族は何人？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
6) 「自分と違う人たちは苦手？ DNAの旅とフリーハグ 予習「人間とチンパンジーのDNAは何パーセントくらい共通？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
7) はじめての海外旅行 コンゴ民主共和国の森の村で 予習「アフリカで村長から『養子になれ』と言われたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
8) 生物の多様性と文化の多様性を生かす コンゴの民衆の智恵 予習「塩と砂糖だけを買う森の村で作れる料理の数は何種類？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
9) お金が通用しない暮らし 贈り物・物々交換・地域通貨・仮想通貨 予習「突然お札が通用しなくなったら暮らしはどうなる？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
10) 女性として生きるのがつらい国 コンゴ民主での性暴力など 予習「スマホに不可欠のタンタル鉱石とコンゴ内戦のつながりは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
11) 今を生きる指針としての神話 コンゴの森の人びとの語りから 予習「子どものころから聞いた神話の中で印象に残るものは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
12) 民衆の記憶力 昔むかしの漂流民の伝承を与那国島で聞く 予習「言い伝えは、何年前くらいまでさかのぼれるものでしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
13) 生ハムとワインの国 おいしい食べ物が異文化攻撃の武器にもなる 予習「サビエルと山口とのかかわりを知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
14) 武器をもって闘ったお坊さんたち 幕末長州の真宗僧の活躍 予習「幕府軍が長州を包囲した四境戦争はいつ起こったか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
15) みんなちがってみんな「？」 たくさんの思いこみからの解放 予習「あなたなら上記の『？』にどんな言葉をいれますか？」 復習「最終レポートのテーマを考えよう」	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
授業外学習	
復習は、課題2問程度に回答することです（60分）。予習は、次回講義の用語をgooglescholarなどで検索し、関連のある文章に目を通してみましょう（30分）。最終回の予習は、「最終レポートのテーマを考えよう」です。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト、宮本常一・安溪遊地、2024『調査されるという迷惑 フィールドに出る前に読んでおく本（改訂増補版）』（みずのわ出版） 担当教員のブログ https://ankei.jp	

課題に対するフィードバック

毎回の質問には、次の回までにできるだけ答えるようにしていきます。また、すぐれた意見については、ご本人の同意の上でクラス全体でシェアします。

備考

科目名	日本語表現法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場面が多様化し、「ことば」はますます重要になってきている。そこで、本授業では、現代日本語の様々な姿やそこに潜む表現法を、実践を通して学んでいくことを目的とする。まず、インプットとして、現代日本語表現に関する基礎的な知識を学ぶ。そのうえで、アウトプットとして、「書く」こと、すなわち文章表現を扱う。文章には様々な種類がある。可能な限り、多種多様な文章を扱っていく。

到達目標

A1401

1. 句読点などの、基本的な表記法を習得する。
2. 慣用表現など、基本的な定型表現を習得する。
3. 待遇表現（敬語）など、文体に関わる表現法を習得する。
4. 様々な現代日本語表現における、文章の書き方の基本を習得する。

成績評価方法

授業態度・参加度の評価，授業時間内の小レポート（作業シート）の成績の総和による。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入：シラバスの説明，日本語表現法とは？ 【予習】日本語表現法という学問領域について考えておく（1時間） 【復習】日本語表現法について確認する（2時間）	
2) 知識(1)：表記，語 【予習】表記や語の種類について考えておく（1時間） 【復習】豊富な表記法などを振り返る（2時間）	
3) 知識(2)：定型表現，文 【予習】慣用表現などについて考えておく（1時間） 【復習】文の構造などを振り返る（2時間）	
4) 知識(3)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（1時間） 【復習】文章・文体について振り返る（2時間）	
5) 知識(4)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（1時間） 【復習】文章・文体について振り返る（60分）	
6) 演習(1)：要約 【予習】要約について見ておく（1時間） 【復習】要約について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
7) 演習(2)：メール 【予習】自分のメールを見ておく（1時間） 【復習】メールの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
8) 演習(3)：広告（ポスター） 【予習】ポスターを見ておく（1時間） 【復習】広告の表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
9) 演習(4)：メニュー 【予習】メニューを見ておく（1時間） 【復習】メニューの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
10) 演習(5)：マニュアル 【予習】マニュアルを見ておく（1時間） 【復習】マニュアルの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
11) 演習(6)：“やさしい日本語” 【予習】“やさしい日本語”について見ておく（1時間） 【復習】“やさしい日本語”の表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
12) 演習(7)：自己アピール 【予習】自己アピールについて考えておく（1時間） 【復習】自己アピールの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
13) 発展(1)：アンケート 【予習】アンケートについて確認しておく（1時間） 【復習】アンケートの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
14) 発展(2)：レポート，論文 【予習】論理的な文章について考えておく（1時間） 【復習】レポート・論文の構成について振り返る（2時間）	
15) 発展(3)：レポート，論文 / 総括 【予習】レポートや論文について考えておく（1時間） 【復習】レポート・論文の書き方について振り返る（2時間）	リフレクションシート
授業外学習	
予習においては，授業で扱う予定のトピックにおいて，何が問題となりそうか考えておいてほしい。 復習においては，授業中に行った課題及び説明について振り返るとともに，それらのことが，文章表現をする際にどのように役に立つかを確認してほしい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：なし。代わりに，プリントを配付する。 参考書等：授業の際に適宜挙げる。	日本語表現法演習

課題に対するフィードバック

小レポート（作業シート）で提示された質問や感想などに関して、小レポート（作業シート）上で個別に回答したり、次の授業で取り上げ、受講者全員に共有したりすることで、フィードバックを行う。

備考

科目名	日本語表現法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

本授業では、論理的文章を書くための基礎的な能力を養成することを目的とする。そのために、毎回様々な文章が提示され、それに関する課題をこなしていく。内容については、表記、語順、表現の選択、事実と意見の区別など、現代日本語表現法の基本となるテーマを扱う。毎回の作業の積み重ねによって、論理的文章の表現法を体得することができる。

到達目標

A1402

1. 様々な文章を観察・分析することによって、文章表現法を論理的に考えることができる。
2. 表記法や文法的な問題を、文章表現の観点から意識できる。
3. 様々な表現の中から、文脈に即した適切な表現法を選択できる。
4. 事実と意見の違いを明瞭に理解し、的確な表現をすることができる。

成績評価方法

授業態度・参加度、授業内の小レポート（作業シート）により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入：シラバスの説明，文章表現とは 【復習】授業全体の流れ・目的を明瞭に理解しておく（1時間）	
2) 読点の打ち方 【予習】句読点について確認しておく（1時間） 【復習】読点の打ち方について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
3) 語順の文法 【予習】日本語の語順について確認しておく（1時間） 【復習】日本語の語順と文章表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
4) かなと漢字の書き分け 【予習】かな・漢字について確認しておく（1時間） 【復習】かな・漢字といった表記法について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
5) 主語の省略と表出 【予習】主語について確認しておく（1時間） 【復習】主語の出現条件について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
6) 話しことばと書きことば 【予習】話しことば・書きことばについて確認しておく（1時間） 【復習】話しことば・書きことばの違いを振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
7) 弱い判断の功罪 【予習】文末表現について確認しておく（1時間） 【復習】文末表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
8) 事実と意見の書き分け(1) 【予習】事実・意見ということばの意味を確認しておく（1時間） 【復習】事実と意見の区別について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
9) 事実と意見の書き分け(2) 【予習】事実・意見ということばの意味を確認しておく（1時間） 【復習】事実と意見の区別について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
10) 「のだ」のさじ加減(1) 【予習】主張について確認しておく（1時間） 【復習】主張を表す「のだ」について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
11) 「のだ」のさじ加減(2) 【予習】主張について確認しておく（1時間） 【復習】主張を表す「のだ」について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
12) 接続詞の使い方 【予習】接続詞について確認しておく（1時間） 【復習】接続詞の使い方について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
13) 文の長さを読みやすさ 【予習】文の長さについて確認しておく（1時間） 【復習】文の長さを読みやすさの関連性について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
14) 段落の考え方 【予習】段落について確認しておく（1時間） 【復習】段落の役割について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
15) 総括 【予習】今期の授業内容を整理しておく（1時間） 【復習】授業内容を総合的に振り返る（2時間）	リフレクションシート
授業外学習	
<p>予習においては，授業で扱う予定のトピックにおいて，何が問題となりそうか考えておいてほしい。</p> <p>復習においては，授業中に行った課題及び説明について振り返るとともに，それらのことが，文章表現をする際にどのように役に立つかを確認してほしい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：なし。代わりに，プリントを配布する。 ・参考書：授業中に適宜指示する。 	日本語表現法演習

課題に対するフィードバック

小レポート（作業シート）で提示された質問や感想などに関して、小レポート（作業シート）上で個別に回答したり、次の授業で取り上げ、受講者全員に共有したりすることで、フィードバックを行う。

備考

科目名	異文化コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格		

授業概要

本授業は異文化への理解を深める前提として、日本・欧米・アジアの諸文化の基礎となる「倫理的な問題」について理解を深めることを目的とする。（主に高等学校範囲の「倫理」および「公共」の発展的な内容を取り扱う）

例えば、「〇〇することは許されるのか。どこまでが許され、どこからがすべきではないことなのか」といった問いは、倫理的な問いである。これらは、人間が行動を選択することに関わっている。人生は選択の連続で、その選択の背景には何らかの判断基準がある。この「人間の生き方や行為に関わる価値規範」となるのが「倫理」である。

本授業のテーマとなる「倫理」に関するキーワードは次の4つ、

- 「人間」：「人間とはどういう存在なのか」「人間と他の動物との違いは何か」「人間らしさとは何か」
- 「生き方・行為」：「どのような生き方・行為を選択しがちなのか」「どのような生き方・行為を選択すべきか」
- 「価値」：「よいこととは何か、悪いこととは何か」「ある行為は時としては善、時としては悪ということがあるのか（善悪は絶対的なのか、相対的なのか）」
- 「規範」：「今ここで、私は何をなすべきなのか」「人として何をなすべきなのか」

到達目標

(A2403)

1. 青年期について理解を深め、「人間の特質」「青年期とは」「感情と認知」「適応と個性の形成」「青年期の心理的特徴」および「社会へ参加と生きがい」について説明できる。
2. 源流の思想への関心を持ち、「ギリシア思想」「キリスト教」「イスラーム」「仏教」および「中国の思想」について理解し説明できる。
3. 西洋近現代の思想について関心を持ち、「人間の尊厳」「科学革命と自然観」「社会契約の思想」「ドイツ観念論」「イギリス功利主義」「社会主義の思想」「実存主義とプラグマティズム」「現代の思想」および「現代のヒューマニズム」について理解し説明できる。
4. 日本の思想について理解を深め、「日本固有の思想」「日本仏教の受容」「日本仏教の展開」「日本儒学の展開」「国学・庶民の思想」「西洋思想との出会い」「近代日本の思想」および「現代日本の思想」について説明できる。
5. 現代の諸課題と倫理について理解を深め、「生命倫理」「環境倫理」「家族・地域社会」「情報社会」「文化と宗教」および「国際平和と人類の福祉」について説明できる。

成績評価方法

- 期末試験および最終レポート：40点
- 小テストおよびミニレポート：35点
- プレゼンテーションと振り返り：25点

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○			○			35
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○		○		○		25
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：テキスト概要の解説 テキスト第1章「青年期」についての講義、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
2) テキスト第1章「青年期」についての講義 【予習】テキスト第1章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
3) テキスト第1章「青年期」についての講義 【予習】テキスト第1章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
4) テキスト第2章「源流の思想」についての講義 【予習】テキスト第2章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う 第1章の小テストを行う
5) テキスト第2章「源流の思想」についての講義 【予習】テキスト第2章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
6) テキスト第2章「源流の思想」についての講義 【予習】テキスト第2章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
7) テキスト第3章「西洋近現代の思想」についての講義 【予習】テキスト第3章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う 第2章の小テストを行う
8) テキスト第3章「西洋近現代の思想」についての講義 【予習】テキスト第3章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
9) テキスト第3章「西洋近現代の思想」についての講義 【予習】テキスト第3章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
10) テキスト第4章「日本の思想」についての講義 【予習】テキスト第4章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う 第3章の小テストを行う
11) テキスト第4章「日本の思想」についての講義 【予習】テキスト第4章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
12) テキスト第4章「日本の思想」についての講義 【予習】テキスト第4章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
13) テキスト第5章「現代の諸課題と倫理」についての講義 【予習】テキスト第5章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う 第4章の小テストを行う
14) テキスト第5章「現代の諸課題と倫理」についての講義 【予習】テキスト第5章を読み、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】テキストの復習（30分）	授業時にディスカッションを行う
15) 総括およびフリーテーマによる期末課題作成に向けたディスカッション 【予習】異文化コミュニケーションに関わる話題を調べ、ディスカッションの話題を一つ準備する（60分）、【復習】期末レポートの作成（120分）	授業時にディスカッションを行う 第5章の小テストを行う
授業外学習	
毎回指定された範囲のテキストの各章を読み、興味を持った課題の中から一つ以上を調べてディスカッションができるよう準備をしてくる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『テオリア 最新倫理資料集(新課程版)』 第一学習社 2023年	

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

大学入学共通テストレベルの「国語」（古文・漢文含む）、「英語」（資料の読解）、「地理・歴史・公民」（日本、欧米、アジアなどについて）の知識があると授業が楽しめると思います。（重要なものは試験に出しますので勉強してください）

科目名	コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	梶本 俊哉、小山 典子、木元 卓也		関連する資格	

授業概要

(概要)保健・医療・福祉および教育の現場で言語・非言語コミュニケーション活動を展開するにあたって、コミュニケーション論を基本にして、他者との人間関係における自己表現方法を学ぶ。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてグループワークや演習と講義を組み合わせ学習する。

(梶本俊哉 5回)

日常生活および教育現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、基本的な支援の在り方に関する理論と技術を解説する。なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、地域のスクールカウンセラーとして心理相談業務に従事している。本講義においてはスクールカウンセリングのテーマでもある親子や児童生徒関係におけるコミュニケーションについて、実際の事例を元にして理解を深め、履修生とともに考える。

(小山典子 5回)

医療現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、事例を交えてカウンセリング概念と基本的な技術と理論を解説する。

(木元卓也 5回)

福祉現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、事例及び模擬面接を交えてカウンセリング概念と基本的な技術と理論を解説する。

到達目標

(A2402)

コミュニティでの言語・非言語コミュニケーション活動について、基本的な技術と理論を理解し説明できる。

日常生活場面に加え、教育現場、医療現場、福祉現場での言語・非言語コミュニケーション活動について、基本的な技術と理論について理解し説明できる。

成績評価方法

3名の教員がオムニバスで担当し、授業参加状況やレポート等による各教員の評価をあわせて成績評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) コミュニケーションについて（榎本担当：第1～5回） 【復習】講義内容の復習（60分）	
2) 親子のコミュニケーション 児童期 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
3) 親子のコミュニケーション 思春期 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・レポート
4) ハラスメント - 加害者と被害者の心理 - 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
5) ハラスメント - 加害者と被害者の心理 - 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・レポート
6) 医療現場におけるコミュニケーションを支える心理（小山担当：第6～10回） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
7) 医療現場におけるコミュニケーションを動かす心理 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	演習・レポート
8) 医療現場におけるコミュニケーションのずれの違いとは 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	演習・レポート
9) コミュニケーションにおける信頼関係 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	演習・レポート
10) コミュニケーションにおける責任 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	演習・レポート
11) 福祉現場におけるコミュニケーションについて（木元担当：第11～15回） 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
12) 子ども家庭福祉を通して考えるコミュニケーション 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
13) ストーカー加害者を通して考える相手との会話 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
14) 模擬面接を通して考えるコミュニケーションの難しさ 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
15) 模擬面接を通して考えるコミュニケーションの難しさ 【復習】講義内容の復習（60分）	演習
授業外学習	
<p>各担当教員より提示された課題を準備しておく。 各担当教員より提示された資料については事前に熟読し理解しておく。 授業中理解できなかった専門語彙は、次の授業までに調べて理解しておく。 各担当教員の指示に従いレポートを作成する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
各授業担当より指示する	心理学科の授業全般

課題に対するフィードバック

各授業担当より行う。

備考

科目名	表現アートセラピー演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	酒木 保、中越 久代	関連する資格		

授業概要

表現アートセラピーとは、様々な表現（絵や粘土、コラージュ、ダンス・ムーブメント、声や音楽、ドラマ、ライティングなど）を用いる統合的芸術療法である。アート表現は、人の持つ可能性を賦活するものとして近年注目されている。この科目では、表現アートセラピーがどのような療法であり、どのような特徴を持つのかについて全体像をつかむ。テキストの実例から表現アートセラピーの実際について学び、心理的成長のプロセスを理解し、自己の心理的成長について考える。

実務経験

酒木保：臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっている。更に旭川医科大学専任講師として思春期青年期のクライアントに対する臨床的対応、市立旭川病院神経精神科において境界性人格障害に対する臨床心理的対応を実施してきた。その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

中越久代：公認心理師、臨床心理士の資格を有しており、産業カウンセラー、学生相談室、スクールカウンセラーおよび心療内科クリニックにて思春期青年期を中心とした多種多様な臨床現場に携わっており、カウンセリングのみならず、芸術を通じたクライアントとの心の交流も積極的に行っている。また、ボランティア団体「スノーズレンを楽しむ会」と提携し、スノーズレンが人間の脳波や心理にどのような効果を及ぼすかについての研究を行い、その結果をもとにスノーズレンを臨床現場に活用している。芸術がもたらす癒しや心理的成長を体験するとともに、生理的、心理的なエビデンスの必要性についても考える。

到達目標

A1403

様々な知覚機能を用いて創造的活動を闊達化し、カオスからコスモスへのプロセスを概観し、芸術の基本原則を体験する。

成績評価方法

作品の提出、感想文の提出

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度			○				20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	中越久代 表現アートセラピーの理論を学ぶ 【予習】表現アートセラピーについて調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
2)	中越久代 身体を使った表現アートセラピーを体験する（1） 【予習】表現アートセラピーの基本特性について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
3)	中越久代 身体を使った表現アートセラピーを体験する（2） 【予習】呼吸法による効果について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
4)	中越久代 身体を使った表現アートセラピーを体験する（3） 【予習】自分自身の身体感覚や実感について考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
5)	中越久代 感覚を使った表現アートセラピーを体験する（1） 【予習】人間の5感の基本特性について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
6)	中越久代 感覚を使った表現アートセラピーを体験する（2） 【予習】自分自身が表現しやすい感覚について考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
7)	中越久代 感覚を使った表現アートセラピーを体験する（3） 【予習】感覚を使用したセラピーが実施される場面について考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 レポートの提出
8)	酒木保 色彩プロットから描画と物語（1） 【予習】知覚認知について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
9)	酒木保 色彩プロットから描画と物語（2） 【予習】色彩の知覚特性について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
10)	酒木保 色彩プロットから描画と物語（3） 【予習】表現アートセラピーと知覚の関連性について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
11)	酒木保 スクウィグルと4コマ漫画（1） 【予習】スクウィグルについて調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
12)	酒木保 スクウィグルと4コマ漫画（2） 【予習】4コマ漫画について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
13)	酒木保 スクウィグルと4コマ漫画（3） 【予習】スクウィグルと4コマ漫画の関連性について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
14)	酒木保 授業内容のふりかえりと解説 【予習】今回実施した演習の応用例を考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 ショートレポートの提出
15)	酒木保・中越久代 合同 全体の総括 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 レポートの提出
授業外学習		
生活世界における様々な事象について表現する練習をしてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料を適宜配布する。		表現アートセラピー演習

課題に対するフィードバック

作品に対する評価をその都度行う。

備考

動きやすく、多少汚れても良い服装で受講してください。
水分補給が十分できるように各自用意してください。

科目名	表現アートセラピー演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	酒木 保、中越 久代		関連する資格	

授業概要

対人援助は、人間関係のプロセスそのものと言える。相手を理解し共感するためには、まず自己理解が必要となる。この授業では、表現アートセラピーを通して自己の内面を見つめ、自己理解を深め、他者との共感的コミュニケーションを体験的に学ぶ。また芸術療法の基礎、パーソンセンタード表現アートセラピーの理論と実践を学ぶ。演習・実習を通して、いかに自由で安全な場を提供するかについて学んでいく。医療（精神科、高齢者）や教育における適用例も概説する。

実務経験

酒木保：臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっている。更に旭川医科大学専任講師として思春期青年期のクライアントに対する臨床的対応、市立旭川病院神経精神科において境界性人格障害に対する臨床心理的対応を実施してきた。その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

中越久代：公認心理師、臨床心理士の資格を有しており、産業カウンセラー、学生相談室、スクールカウンセラーおよび心療内科クリニックにて思春期青年期を中心とした多種多様な臨床現場に携わっており、カウンセリングのみならず、芸術を通じたクライアントとの心の交流も積極的に行っている。また、ボランティア団体「スヌーズレンを楽しむ会」と提携し、スヌーズレンが人間の脳波や心理にどのような効果を及ぼすかについての研究を行い、その結果をもとにスヌーズレンを臨床現場に活用している。芸術がもたらす癒しや心理的成長を体験するとともに、生理的、心理的なエビデンスの必要性についても考える。臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

到達目標

A1404

様々な治療技法が使いこなせるようになる。

成績評価方法

作品の提出
感想文の提出

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	中越久代 表現アートセラピーの理論 【予習】アートセラピーの応用について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
2)	中越久代 スヌーズレンの紹介 【予習】スヌーズレンについて調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
3)	中越久代 スヌーズレンルームの作成（1） 【予習】ブラックライトについて調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
4)	中越久代 スヌーズレンルームの作成（2） 【予習】光の3原色と色の3原色と色の見え方について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
5)	中越久代 スヌーズレンルーム内で自由に表現、創作をする（1） 【予習】色の波長について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
6)	中越久代 スヌーズレンルーム内で自由に表現、創作をする（2） 【予習】スヌーズレンの応用について考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
7)	中越久代 授業内容の振り返り・片付け 【予習】スヌーズレンの効果について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 レポート提出
8)	酒木保 交互彩色法（1） 【予習】色彩の基本特性について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
9)	酒木保 交互彩色法（2） 【予習】色彩の心理的効果について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
10)	酒木保 交互彩色法（3） 【予習】クワインとカヂターの関係について考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
11)	酒木保 黄黒交互彩色法（1） 【予習】黄色と黒色について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
12)	酒木保 黄黒交互彩色法（2） 【予習】なぜ黄色と黒色を交互彩色するかについて考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
13)	酒木保 黄黒交互彩色法（3） 【予習】描画とナラティブについて調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
14)	酒木保 授業内容のふりかえりと解説 【予習】アートセラピーの応用について考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 実際に表現して作品を提出する
15)	酒木保 中越久代（合同） 授業内容のふりかえり 【予習】クライアントとセラピストの関係性について考える（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	対面授業 レポート提出
授業外学習		
生活世界の中から芸術に関わるものを見出すこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料を適宜配布する。		表現アートセラピー演習

課題に対するフィードバック

作品に対する評価をその都度行う。

備考

動きやすく、多少汚れても良い服装で受講してください。
水分補給が十分できるように各自用意してください。

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	角光 通子、小野 洋平	関連する資格		

授業概要

大学に入学をして、あなたは何をしたいのか？ 4年間をどの様に過ごすのか？ 4年後に卒業をし、社会に出る、又は大学院進学に向けての進路選択活動をするため、自己理解を深め、これからの自分の大学生活をデザインすることを目的とする。グループワーク・グループ演習などを通して、他者とのコミュニケーションをはかり、同時に、自分の想い、他者への想いを深めていく。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、社会人として必要な知識・スキルについて講義をする。

到達目標

(A1801)

- 自己理解を深める
- 社会人として必要な能力を向上させる
- 社会で働くことの意義を考えることができる
- 広い範囲から職業選択、進路選択ができる

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加、小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○	○	○		30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							40
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション ガイダンス 【予習】 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
2) コミュニケーションスキル 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
3) コミュニケーションスキル 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
4) PROGテスト 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
5) 大学生活の過ごし方・マナー 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
6) ワールドカフェ ～クラスのみなどと知り合い、自分の意志を伝える～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
7) 未来の自分を考える ～将来の自分に視点を向け、考える～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
8) あなたの未来は？ ～お金の意味を考える～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
9) Web情報・書籍の活用 Webや書籍の活用方法について考える 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
10) PROGの解説 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
11) PROGの解説 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
12) 社会人基礎力とは？ ～社会人基礎力の概要～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
13) キャリアとは ～キャリアについて考える～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
14) キャリア理論 ～キャリア理論の概要～ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
15) 総括 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
授業外学習		
<p>毎授業後、作成するレポートを通して、自身の課題を明確にし、次回の授業への関わりに活かす。 実践的な課題を提示するので、各自取り組み報告する。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<p>適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。</p>		<p>キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリア形成実践演習、インターンシップ、インターンシップ</p>

課題に対するフィードバック

小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。

備考

授業においては、Googleクラスルームを活用する。
キャリアデザイン までの課題を提示するので、キャリアデザイン の受講までに、各自取り組み報告する。

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	後期
担当者名	角光 通子、小野 洋平	関連する資格		

授業概要

大学卒業後の職業選択に関する基礎的な事項（経済、社会、企業の仕組み等）について理解を深める。また、社会人・職業人インタビューの実施、発表を通して、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力に磨きをかける。
本授業は対面で実施する。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、業界、企業など社会の仕組みについて講義をする。

到達目標

- (A2801)
- 社会人として必要な能力を向上させる
 - ロールモデルを見つけ、自身の将来像がイメージできる
 - 社会で働くことの意義を考えることができる
 - 広い範囲から職業選択、進路選択ができる

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加、小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション			○	○	○		15
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 【予習】「キャリアデザイン」で学んだことを振り返る（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
2) コミュニケーションを学ぶ ～質問力を身につける～ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
3) ハビキャリア 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
4) 業界・職種・組織を知る 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
5) 多様な生き方・働き方を知る（担当：外部講師） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
6) お金の話 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
7) ワールドカフェ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
8) WEB情報の活用（業界研究・職種研究） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
9) インタビュー発表 社会人へのインタビューの発表 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
10) インタビュー発表 社会人へのインタビューの発表 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
11) JOBフェア 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
12) インタビュー・JOBフェア振り返り 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
13) 社会人講話 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
14) キャリアデザイン 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート グループワーク
15) 総括 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）	小レポート
授業外学習	
<p>毎授業後、作成するレポートを通して、自身の課題を明確にし、次回の授業への関わりに活かす。 社会人へのインタビューを実施し、レポート作成及び、プレゼンテーションの準備をする。 実践的な課題を提示するので、各自取り組み報告する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。</p>	<p>キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリア形成実践演習、インターンシップ、インターンシップ</p>

課題に対するフィードバック

小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。

備考

Googleクラスルームを活用する。
キャリアデザイン までの課題を提示するので、キャリアデザイン の受講までに、各自取り組み、報告する。

科目名	キャリア形成実践演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	後期
担当者名	角光 通子	関連する資格		

授業概要

インターンシップとは、「学生が企業や行政機関などの職場において、就業体験を通じて勤労観や職業観を高めるための制度」である。インターンシップでは、学校にはない実際の現場を教育の場として利用し、教室で学習したさまざまな知識を実際に応用するための機会を提供する。本学のインターンシップでは、学生自身に将来の職業適性を考える機会を与え、社会人として必要な責任感や自立心など将来の職業人としての心構えを養う。自身の専攻分野に関わらず、幅広く社会に興味を持つことに視点を置き、多様な選択肢から実習機関を選択、実施することにより、学習の場が社会に繋がっていることを知る。本授業は対面で実施する。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、社会人として必要な知識・マナーについて、指導をする。

到達目標

- (A2802)
 ○自分自身で考え、考えた内容を自分の言葉で表現できる。
 ○初対面の人とコミュニケーションを取ることが出来、人間関係が構築できる。
 ○社会人として基本的なマナーを習得し実行できる。

成績評価方法

事前指導の受講態度、インターンシップ先による評価、実習レポート、実習日誌、報告会での報告内容を総合して、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>10月 オリエンテーション（担当：角光） ～インターンシップの概要について～</p> <p>11月 インターンシップ受け入れ先の選択（担当：角光） 希望先について調査し、レポートを作成 必要書類の準備</p> <p>1月 インターンシップ受け入れ先の選択・決定（最終）（担当：角光） 必要書類の準備</p> <p>1月上旬～（集中）マナーの習得（担当：角光） ビジネスマナーの習得その1 ビジネスマナーの習得その2</p> <p>2月～3月 希望先でのインターンシップ （後期定期試験期間終了後）</p> <p>3月 インターンシップ報告書の作成・提出（担当：角光） インターンシップの振り返り 報告会</p>	
授業外学習	
<p>希望先について調査し、レポートを作成する。インターンシップを通じて、自分が習得したいことを事前準備で明確にする。インターンシップでの日々の振り返りを通して、次のインターンシップにおける行動に活かす。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>適宜配布するプリント</p>	<p>キャリアデザイン、 インターンシップ、</p>

課題に対するフィードバック

適宜、面談又は、提出された課題にコメントにて実施する。

備考

科目名	心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	鈴木 千晴	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、心理学の各領域について基本的な概念を習得する。具体的には、心理学を系統発生・個体発生的基盤、認知的・言語的基盤、社会的・文化的・制度的基盤、適応的・個人的基盤の各観点から、心理学の基礎を概説する。また本講義は、公認心理師標準シラバスの心理学概論「人の心の基本的な仕組み及び働き」に相当する。

到達目標

(A1201ab)
心理学の主要な研究分野について、その基本的な概念と理論を説明できる。
日常的な現象について心理学的な観点から説明することができる。
人の心と行動をとらえる多様な視点や、心理学の各研究分野の概要を説明することができる。

成績評価方法

試験と授業ごと的小レポート、受講態度で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	はじめに 心理学の諸分野について 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
2)	ヒトと動物の心や行動：系統発生的基盤 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
3)	私たちの行動と子どもの行動：個体発生的基盤 1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
4)	行動と学習：個体発生的基盤 2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
5)	感覚・知覚：認知的基盤 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
6)	思考や言語、認知と脳のはたらき：言語的基盤 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
7)	個人差とパーソナリティ：個人的基盤 1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート・中間小テスト
8)	知能と発達への複数の視点：個人的基盤 2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
9)	動機づけと情動：適応的基盤 1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
10)	ストレスと健康：適応的基盤 2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
11)	心理学と臨床：個人的基盤 3 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
12)	心理学と教育・司法：制度的基盤 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
13)	社会的認知・社会的影響：社会的基盤 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
14)	集団 文化と心理学：文化的基盤 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
15)	まとめと振り返り 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート・期末小テスト
授業外学習		
事前に公開される授業資料を事前に読み、予習する。授業で扱った重要概念について配布資料をもとにその定義について復習する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
*テキスト 鹿取 廣人・杉本 敏夫・鳥居 修晃・河内 十郎(編) 『心理学第5版補訂版』東京大学出版会, 2020 プリントも配布します。		心理学概論

課題に対するフィードバック

質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。試験については、回答を提示して解説を行う。

備考

科目名	心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	鈴木 千晴	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、心理学の基本概念を踏まえて、心理学とはどのような学問領域なのかを考える。具体的には、諸科学と心理学との違いを検討し、心理学の歴史的発展過程を時代背景と共に概説した上で、心理学が関わる新しい領域についても展望する。また本講義は、公認心理師標準シラバスの心理学概論「心理学の成り立ち」に相当する。

到達目標

A1202ab

心理学とはどのような学問なのか、その定義や範囲を説明できる。
科学的心理学の成立と発展における重要な学派や概念を説明できる。
心理学の新しい研究領域と展開について、普段の生活と結びつけて説明できる。

成績評価方法

期末試験 50%、ミニッツペーパー 20%、小テスト20%、講義への参加度10%で評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) はじめに 心理学の諸分野について振り返り 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
2) 「科学」と心理学の定義：心理学と諸科学 1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
3) 自然科学・人文社会科学と心理学：心理学と諸科学 2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
4) 心に関する科学以前の思索：心理学史 1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
5) ヴントとその後の諸学派：心理学史 2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
6) 認知心理学と神経科学：心理学史 3 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
7) 臨床心理学の発展と現代：心理学史 4 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート・中間小テスト
8) 人工知能と心理学：心理学の展開 1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
9) 拡張現実と身体の変容性：心理学の展開 2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
10) 再現性問題と統計「革命」：心理学の展開 3 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
11) 社会心理学と分断された社会：心理学の展開 4 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
12) ソーシャルメディアと対人関係：心理学の展開 5 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
13) 心理主義と社会の心理学化：批判心理学 1 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
14) 多様性と社会正義の心理学：批判心理学 2 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
15) まとめと振り返り 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート・期末小テスト
授業外学習	
事前に公開される授業資料を事前に読み、予習する。授業で扱った重要概念について配布資料をもとにその定義について復習する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリントを配布します。	心理学概論 心理学の各専門科目

課題に対するフィードバック

質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。試験については、回答を提示して解説を行う。

備考

科目名	知覚・認知心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

私たちは、多くの事物や出来事に取り囲まれて生活している。その中において適切に振る舞い対処していくためには、周りの状況や事物や出来事、あるいは自分自身の身体の状態さえも適切に捉えることが必要である。それを支えているのが、感覚、知覚、（狭義の）認知と呼ばれる心の働きである。感覚・知覚・認知は、通常、私たちの周りで発生した刺激（情報）がヒトの感覚器官に受容されることから始まるが、私たちが経験するのは周りの世界の写しではなく、むしろ経験や知識の関わりにより解釈し構成された世界である。このような感覚、知覚、認知の働きをまとめて心の認知機能という。この授業では、まず初めに、この認知機能の枠組みと特徴、そしてそれらを捉える方法論について解説する。続いて、それら認知機能が外的情報（刺激）と内的情報（記憶・知識）との相互作用の結果としてもたらされるものとして、それを担う感覚・知覚・認知の過程について解説する。
本授業は、原則、対面で実施する。

到達目標

A1203
認知機能の枠組みとその諸特性を理解し、概説できる
多様な感覚・知覚・認知の現象を知り、それぞれを概説できる
感覚・知覚・認知に関する情報処理モデルの考え方を理解し、概説できる

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、定期試験により総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 感覚の種類と構造 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
2) 感覚・知覚の基本的特性 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
3) 視覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
4) 聴覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
5) 化学的感覚・体性感覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
6) 対象認知 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
7) 感覚・知覚の障害 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
8) 認知の基本的特性 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
9) 注意のメカニズム 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
10) 記憶のメカニズム(1)ワーキングメモリ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
11) 記憶のメカニズム(2)長期記憶 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
12) 記憶のメカニズム(3)日常的記憶 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
13) 知識の表象と構造 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
14) 問題解決と推論 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
15) 認知・思考の障害 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
授業外学習	
予習と復習を行ってください。 具体的内容については授業時に指示します。 授業外でも遠慮なく質問してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しません。各単元でプリントを配布します。 参考図書： 石口彰（編著）「知覚・認知心理学」放送大学、2019 道又爾他（著）「認知心理学 知のアーキテクチャを探る」有斐閣、2003	脳科学、学習・言語心理学、神経・生理心理学、色彩心理学、色彩心理学演習

課題に対するフィードバック

- ・ ミニツッペーパー（授業内ミニレポート）への解答は、次回の授業の始めにアナウンスします。
- ・ 小テストについては、逐次回答と解説をフィードバックします。
- ・ 期末試験については、全体の結果等をフィードバックします。

備考

- ・ 本講義は公認心理師（心理学発展科目）、認定心理士（領域D）取得に関わる講義です。
- ・ 講義内で電子機器を用いたアクティブラーニングを行うことがあります。PCやタブレット、スマートフォンなど、インターネットにアクセスできる機器を持参の上受講してください。
- ・ 復習課題から知識の獲得状況を把握し、各自不足している知識の拡充を図ってください。
- ・ 講義内で教員との双方向コミュニケーションを行います。積極的に質疑に参加してください。

科目名	発達心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	三島 瑞穂、大石 英史	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

人間の発達とは、生涯にわたり、質的・量的に変化していく「連続した過程」として捉えられる。また、各発達の段階には、達成すべき課題があり、それらを遂行していく過程とも捉えられる。本講では、こうした視点を踏まえ、出生から死に至るまで人生で生じる心の変化を概観し、発達障害とその支援についても理解を深める。なお、人間の発達を実感できるようにビデオやDVDなどの視聴覚教材を適宜活用する。

授業は対面授業を基本とする。

担当する教員の内、大石は臨床心理士、公認心理師として、スクールカウンセラー、フリースクール支援員などの教育臨床領域、および産業領域のカウンセラーなどを行なっている。

到達目標

(A2211ab)

1. 人の発達をライフサイクルの視点からとらえ、変化のプロセスを説明できる。
2. 各発達段階における特徴と課題を説明できる。
3. 認知機能の発達及び感情・社会性の発達について説明できる。
4. 自己と他者の関係の在り方と心理的発達について説明できる。
5. 高齢者の心理について説明できる。
6. 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達について説明できる。
7. 発達障害等非定型発達に関する基礎的な知識及び考え方について説明できる。
8. 発達に関する知識を用いて自己理解を深めることができる。

成績評価方法

各回の授業レポート30%、授業内に取り組む課題40%、授業への参加状況30%

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		40
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (三島瑞穂/第1~3回) 発達心理学の概要 【予習】自分を振り返り、発達とは何か考えておく 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(各々60分以上)	授業内ワーク、課題
2) 子どもの発達に関する理論 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	小課題
3) 胎児期から乳児期の認知的発達、初期学習能力 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	ドキュメンタリーの視聴、課題
4) (大石英史/第4~10回) 乳児期: 乳児のコミュニケーション能力、マザリングとアタッチメント、情動と関心の共有、探索行動【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
5) 幼児前期: 模倣としぐさの共有、しつけと意志の発達、言葉のはじまり、発達の臨界期【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
6) 幼児後期: 認知機能の発達と感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、現代日本の子育て状況【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
7) 学童期: 小学校という場、学びと遊びの世界、書き言葉の大切さ、論理の発達、9歳の壁【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
8) 思春期: 仲間関係と自己形成、心の問題の顕在化、性と恋愛、不登校現象、仲間関係といじめ【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
9) 青年期: アイデンティティの形成、親子関係の変化と自立、現代大学生の青年期モラトリアム【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
10) 成人前期: 職業選択とキャリア形成、青年期の延長、ライフコースの選択、社会的役割【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
11) (三島瑞穂/第11~15回) 成人後期: 中年期の危機、心理社会的・認知的変化【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(各々60分以上)	小課題
12) 老年期: 知的発達、自伝的記憶と回想、老化のとらえ方、サクセスフルエイジング【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	ドキュメンタリーの視聴、小課題
13) 人の死の心理学的特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	授業内ワーク、小課題
14) 非定型発達とその心理的特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	授業内ワーク、小課題
15) 子どもの権利: 発達を促進する権利保護 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	授業内ワーク
授業外学習	
<p>授業で配布されるプリントを用いたり、小課題(宿題)を行うことでその回の授業内容を復習すること。 次回の授業内容に示された専門用語について、教科書や心理学事典などで事前に調べておくこと。 授業の内容を元に、自分自身や周りの人を発達の観点で捉え、理解を深めること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
相馬 花恵 (編集, 著), 板口 典弘 (編集, 著)「ステップアップ心理学シリーズ 発達心理学 こころの展開とその支援 (KS心理学専門書)」講談社 教科書の順序に沿った授業の進め方ではなく、教科書を持っていることを前提として進める。	心理学概論 ・ 、生涯発達心理学 (乳幼児期)、生涯発達心理学 (児童期・青年期)、生涯発達心理学 (成人期・老年期)

課題に対するフィードバック

- ・ミニレポートについて、個別もしくは授業の始めにフィードバックを行う（三島担当回）。
- ・宿題、授業外レポートについては次回の授業で解答例を提示する（大石担当回）。
- ・授業に関する質問、資料について補足説明が必要な個所については、次回の授業で口頭で説明する（大石担当回）。

備考

科目名	学習・言語心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	古野 公紀	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では、ヒトや動物の行動が変化する過程を理論的に説明できるようになること、また言語の性質と習得のプロセスを理解することを中心に学ぶ。遺伝的あるいは生物学的要因とならび、環境要因が学習において重要なこと、学習者への援助として環境調整への配慮が大切であることへの理解を深める。日常生活への応用として、学習の原理を活用できるように具体例を考えるとといった課題を出す。具体的には以下の内容が予定されている。

ヒトや動物の行動が変化する過程

基本的な学習理論や実験に加えて随時新しい知見や研究成果を紹介し、行動の習得と変化の機序を理解する。その上で日常や学校、社会における様々な行動について学習理論を元に理解し、説明できるように取り組む。

言語の習得における機序

胎児期から乳児期、幼児期と、言語がどのように修得されるのか、その過程を理解すると共に、応答性や感受性を豊かにすることが言語習得においてどのような影響を持つのかを理解する。また、読字障害、書字障害などの学習障害とその支援の在り方について学ぶ。

学習心理学の知見の応用

学習心理学や行動分析学の知見は、認知行動療法や応用行動分析として、教育や臨床などの実践場面で活用されている。どのように役立つかを体験型のワークを通して実践的に学ぶ。

講義は基本的に対面で行う。

到達目標

A2201ab

学習の領域の構成を理解する。
人の行動が変化し学習が成立するプロセスを学ぶ。
人が言語を修得するプロセスを学ぶ。
学習や言語を効果的に習熟する方法について、実験的研究結果から実証的に判断する。
身近な実験から帰納する。
心理学のモデルと日々の言動を対応づけ、普段から心理学的な思考ができるようにする。
言語発達の過程を学び、効果的な習熟過程を考察する中で、人の発達における感受性を豊かにすることや、応答的な学習を促進することの重要性を理解する。
学習障害について学び、学習困難の背景を理解する。

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション							0
グループワーク							0
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 学習とは何か？ 予習：教科書（pp.1?11）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.1?11）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
2) 生得的行動・初期学習・順化 予習：教科書（pp.11?24）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.11?24）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
3) 古典的条件づけの基礎 予習：教科書（pp.25?35）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.25?35）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
4) 古典的条件づけにおける諸現象 予習：教科書（pp.36?45）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.36?45）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
5) 古典的条件づけの理論 予習：教科書（pp.46?54）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.45?54）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
6) オペラント（道具的）条件づけの基礎 予習：教科書（pp.55?65）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.55?65）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
7) 回避と逃避 予習：教科書（pp.66?70）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.66?70）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
8) 強化スケジュール 予習：教科書（pp.71?75）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.71?75）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
9) 弁別学習 予習：教科書（pp.76?84）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.76?84）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
10) さまざまな学習 予習：教科書（pp.85?100）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.85?100）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
11) 行動分析学とは 予習：配布資料を読んでおく（60分） 復習：配布資料を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
12) 応用行動分析学とは 予習：配布資料を読んでおく（60分） 復習：配布資料を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
13) 言語の諸相 予習：教科書（pp.101?112）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.101?112）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出 授業外課題の提出
14) 言語の獲得 予習：教科書（pp.113?127）を読んでおく（60分） 復習：教科書（pp.113?127）を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出 授業外課題の提出
15) 全体のまとめ 予習：配布資料を読んでおく（60分） 復習：配布資料を読みなおす（60分）	リフレクション（授業の感想や質問）の提出
授業外学習	
テキストを読んで予習および復習をしてください。また、必要に応じて授業外課題を行います。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：中島定彦（2020）学習と言語の心理学 昭和堂 テキストに加え、適時資料を配布します	「心理学概論 ・ 」 「認知心理学」 「心理学実験 ・ 」 「教育心理学」 「臨床心理実習 ・ 」

課題に対するフィードバック

リフレクション内での授業の質問に対しては次回の授業でコメントします。

備考

科目名	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	須藤 竜之介	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

社会的行動の個人的側面と集団的側面を中心に概観することにより、人間の社会的行動のメカニズムについて学ぶ。
・社会心理学について歴史や成り立ちを概説し、主要な研究の紹介を交えながら個々のトピックを解説する。
・社会や集団という観点から、人の認知、態度、行動に関する心理過程を解説する。

到達目標

- (A2701ab)
- ・社会心理学について歴史や成り立ちを理解し説明できる。
 - ・人間の社会的行動のメカニズムについて説明できる。
 - ・社会や文化の文脈が個人の心的過程に与える影響について説明できる。

成績評価方法

授業ごとの出席および小課題で15%、試験で85%の配分で成績評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							85
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 社会・集団・家族心理学について 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
2) 対人認知 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
3) 認知バイアス 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
4) 態度と行動 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
5) ステレオタイプと偏見 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
6) 向社会的行動と反社会的行動 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
7) 社会的促進と社会的抑制 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
8) 社会的影響 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
9) 集団過程 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
10) 社会的相互作用 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
11) 対人関係の形成と発展 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
12) 家族関係とソーシャル・サポート 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
13) 集合行動とマスコミュニケーション 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
14) 心の文化差 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
15) 動物と社会心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想レポート・復習テスト
授業外学習	
<p>毎授業時に配布する資料を読み返し復習を行う。特に、授業ごとに出される復習用の小テストを通して、自身の内容の理解度を確認し、適宜足りない部分に重点的に取り組むこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>*テキスト 適宜プリントを配布する。 *参考書 ・森津太子（2020）社会・集団・家族心理学 放送大学教育振興会 ・竹村和久（編）（2018）公認心理師の基礎と実習 第11巻 社会・集団・家族心理学 遠見書房</p>	<p>心理学概論 ・</p>

課題に対するフィードバック

授業内課題については、出された質問・意見に対して授業冒頭で全体にフィードバックする。

備考

科目名	心理学研究法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	鈴木 千晴	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

心理学が取り扱う心や行動のメカニズムは、目に見える仕方では直接調べることができないものが多い。そこで心理学の研究法には、研究対象に接近するための様々な工夫が凝らされてきた。心についての科学的知識が、社会生活を営む上で重要性を増している現代社会において、これらの知識がどのように生み出されるのかを理解することは、情報を批判的に吟味する能力を養うことにつながる。それは、研究者や対人援助の専門家だけでなく、社会で生きるすべての人々にとって有用なものでもある。本講義では研究事例をもとに、心理学の各領域で試みられた様々な方法的工夫を紹介する。なお、本講義は公認心理師標準シラバスの心理学研究法「心理学における実証的研究法（量的研究及び質的研究）」に相当し、()内の記号は標準シラバスの中項目番号である。

到達目標

(A1205ab*)
 心理学的知見が生成される過程を理解し、科学的情報を批判的に吟味する視点を身につける。
 こころと行動を研究対象とする場合の難しさと、主要な研究法においてそれに対処するための工夫について説明することができる。
 心理学研究における量的アプローチと質的アプローチの概要を理解し、複数の可能性から研究対象に合わせて適切な方法を選択できる。
 心理学研究において遵守すべき倫理規定を理解し、自らの学習並びに研究活動において実践することができる。

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、中間テスト、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	はじめに 身の回りの心理学的概念と研究法 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
2)	心理学的概念と変数：実験法（ D ） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
3)	心理学的概念と測定法：実験法と準実験法（ E ） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
4)	調査と心理学：調査法 1（ F ） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
5)	心理学的概念と尺度：調査法 2（ F ） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
6)	現象と様々な記述の仕方：観察法（ H ） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
7)	会話とデータの取扱い：面接法（ I ） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート・中間小テスト
8)	検査と標準化：検査法（ G ） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
9)	心理臨床実践と事例を通じた研究 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
10)	心理学に関わる社会的実践と研究法 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
11)	シミュレーションによる心の研究 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
12)	研究法と先行研究の調べ方 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
13)	研究課題と研究法の選択 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
14)	研究を通じてわかること：科学と実証（ A ） 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
15)	まとめと振り返り 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	振り返り小レポート
授業外学習		
事前に公開される授業資料を事前に読み、予習する。授業で扱った重要概念について配布資料をもとに内容を復習する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：講義資料を配付する 参考図書： 高野陽太郎・岡隆（編著）「心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし」補訂版 有斐閣、2017 村井潤一郎・藤川麗（編著）「心理学研究法」（公認心理師の基礎と実践 4 ） 遠見書房、2018		心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験、色彩心理学演習、心理的アセスメント、心理検査法演習

課題に対するフィードバック

復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。

備考

科目名	心理学研究法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	鈴木 千晴	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

心理学が取り扱う心や行動のメカニズムは、目に見える仕方で直接調べることができないため、研究対象に接近するための様々な工夫が凝らされてきた。これらの方法を通じて、心や行動のメカニズムについての手掛かりとなる多様なデータを得ることができる。心や行動を心理学的に理解するためには、これらのデータを適切に取り扱うための方法を身につけることが不可欠である。さらに、科学者としてデータを正しく扱うためのルールや、研究を行う際に守るべき規範についても学ぶ必要がある。本講義では、心理学の各領域における様々な研究法を踏まえ、それらの方法によって得られるデータの分析方法や、データに基づいた実証的思考法について概説するとともに、演習を通じてこれらのスキルを実践的に身につけることを目指す。なお、本講義は公認心理師標準シラバスの心理学研究法「データを用いた実証的な思考方法 研究における倫理」に相当し、()内の記号は標準シラバスの中項目番号である。

到達目標

(A2202b*)
 データに基づいて実証的に考え、論理的に表現することができる。
 データから導かれる結論の確からしさについて、批判的に検討することができる。
 心理学研究における量的アプローチと質的アプローチ並びにそれぞれのアプローチで用いられる研究方法について概要を理解し、得られたデータの適切な分析法を選択することができる。
 心理学研究において遵守すべき倫理規定を理解し、自らの学習並びに研究活動において実践することができる。

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、演習により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							40
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) はじめに 研究法についてのおさらい 【予習】授業プリントを読んでおく（60分） 【復習】授業で扱った各用語の定義を復習する（60分）	演習
2) 実証と簡単な科学の歴史：科学と実証（ A ） 【予習】「心理学」の学問的立場について概論書を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
3) データを用いて考える方法：実証の手続き（ C ） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
4) 科学的心理学のための倫理的規範：研究における倫理（ ） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
5) 因果関係と実証：実験的方法と観察的方法（ B ） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
6) 操作と統制 要因計画法：相関関係から因果関係へ（ A ） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート
7) 心理学的知見とデータとの関係：定性的研究から定量的研究へ（ B ） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	振り返り小レポート・中間小テスト
8) 量的データと質的データ：データの統計的記述（ C ） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
9) 心的モデルと量的データの取り扱い：複雑な心的事象のモデリング（ D ） 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
10) 心をめぐる現象と質的データ 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
11) 質的データ分析の方法 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
12) 身の回りの心理学的概念を用いた演習：テーマの選択と文献調査 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
13) 身の回りの心理学的概念を用いた演習：研究法の選択 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
14) 身の回りの心理学的概念を用いた演習：研究計画を作ってみよう 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	演習
15) まとめと振り返り 【予習】事前資料と他のメンバーの記述を読み、意見を形成する（90分） 【復習】復習課題を作成し、グループメンバーと共有しておく（90分）	振り返り小レポート
授業外学習	
事前に公開される授業資料を事前に読み、予習する。授業で扱った重要概念について配布資料をもとに内容を復習する。後半の演習では、ディスカッションを踏まえた課題文をメンバーと共有し、他のメンバーのものを読んで自分の意見を形成しておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：講義資料を配付する</p> <p>参考図書： 高野陽太郎・岡隆（編著）「心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし」補訂版 有斐閣、2017 村井潤一郎・藤川麗（編著）「心理学研究法」（公認心理師の基礎と実践 4 ） 遠見書房、2018</p>	<p>心理学研究法、心理学統計法、心理学統計法演習、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験、色彩心理学演習、心理的アセスメント、心理検査法演習</p>

課題に対するフィードバック

復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。

備考

科目名	心理学統計法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	古野 公紀	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

科学的心理学において、実験や調査で得られたデータの統計処理は重要な位置を占めている。この授業では、心理学研究で用いられる統計学手法について、統計に関する基礎的な知識からより複雑な手法に至るまで、具体的な事例を用いてExcelを使った演習を交えながら解説する。はじめに、実験、調査を行った後に論文にまとめるための具体的流れおよびデータの尺度と処理方法について解説した後、データ分析および検定方法の全般にわたる共通項について説明する。次いで平均値の差の検定で一般的に用いられているt検定および分散分析と、比率の検定について、具体的な事例で説明する。最後に、相関による分析について、二要因（変量）間の相関による単回帰分析と、多要因（変量）間の相関による重回帰分析を概説する。最後に、因子分析や共分散構造分析などの多変量解析の概要について説明する。

到達目標

A2203ab*

分析手続きに関する知識とスキルを修得する
統計的指標のもつ意味や分析方法の原理を概念的に理解する
心理学的研究仮説から統計的に検証可能な予測を導き、研究仮説に関して妥当な結論を導くことができる

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、中間試験、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション，心理学と統計，変数とデータ 【予習】「心理学研究法」で配布された資料を読み返しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) 1 変数の統計量 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
3) 2 変数の関係 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
4) 相関と回帰 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
5) 相関と因果 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
6) 母集団と標本 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
7) 統計的推定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
8) 中間試験と解説 【予習】これまでの授業を復習し，中間試験の準備をする．（90分） 【復習】資料を参照しながら中間試験の問題を再度解答する（90分）	
9) 統計的仮説検定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
10) 平均値の差の検定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
11) 分散分析（1） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
12) 分散分析（2） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
13) 統計的仮説検定の注意点 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
14) 多変量解析の基礎と重回帰分析 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
15) まとめ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
授業外学習	
初回と第8回を除く授業への予習と、最終回を除く授業の復習。 具体的内容については授業時に指示する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：講義資料を配付する 参考図書： 小宮あすか・布井雅人（2024）. Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける 第2版 講談社 清水裕士（2021）. 心理学統計法 放送大学教育振興会	統計学、心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法演習、心理的アセスメント、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験

課題に対するフィードバック

復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。

備考

科目名	心理学統計法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	古野 公紀	関連する資格	認定心理士	

授業概要

心理学の研究において、実験法や調査法などいずれの方法を用いる場合でも、得られたデータを適切な統計手法を用いて分析することが重要である。本授業では、統計ソフトHADを用いて実際に量的なデータを扱い、心理統計の方法を身につけることを目指す。

到達目標

A2204b*

- ・統計値について正しく理解できる。
- ・Excelを用いて基本的な統計量を算出できる。
- ・統計ソフトHADを用いて統計量を算出できる。

成績評価方法

授業内小テスト（20％）、時間外復習課題（40％）、演習（40％）で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							40
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学統計のおさらい、Excelの使い方、HADの準備 【予習】Excelに触れ、使い方について調べておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
2) 記述統計 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
3) カイ2乗検定 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
4) t検定（1） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
5) t検定（2）対応のない場合・無相関検定 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
6) 分散分析（1）1要因・多重比較 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
7) 分散分析（2）2要因・交互作用 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
8) 分散分析（3） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
9) 相関とその検定 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
10) 単回帰分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
11) 重回帰分析（1） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
12) 重回帰分析（2） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
13) 因子分析（1） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
14) 因子分析（2） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
15) まとめ 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
授業外学習	
各授業の予習及び復習をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】講義資料を配付する 【参考図書】 小宮あすか・布井雅人（2024）. Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける 第2版 講談社 南風原朝和他（2009）. 心理統計学ワークブック 有斐閣	心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理的アセスメント、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験

課題に対するフィードバック

次の授業で解説する。

備考

科目名	心理調査法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	認定心理士(心理調査)	

授業概要

心理学は人や動物の行動に関する科学と定義されている。心は目に見えず科学として直接扱うことは難しいが、目に見える行動は心の働きを反映しており、観察可能である。心理調査法とは、心を反映する行動を定性的・定量的にとらえ、人の心理を理解するものをいう。本講義では、これまでに開発されてきた心理調査法の具体的な技法を学ぶ。

カウンセラーを目指す者は、大学での卒業論文、大学院での修士論文などでは、実験研究、調査研究が行われる。また、就職を考えている者にとっても、消費者行動の調査が必要となることもあるだろう。そこで、本講義では、心理調査法の種類や、手続き、分析と解釈ができるような実践的な講義を展開する。これにより、受講者それぞれのキャリアに心理学を活用できるようにすることを目指す。

なお、本講義は原則対面で行う。

到達目標

A2205

心理調査の種々の方法について説明できる。

心理調査の種々の方法を用いた研究論文を読解できる。

心理調査の種々の方法を用いた研究計画を立てることができる。

成績評価方法

授業内課題
レポート

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			60
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション 心理調査法で学ぶこと・できるようになること 【予習】関連科目の学びをおさらいする（90分） 【復習】心理調査法で何ができるようになるかをまとめる（90分）	アンケート
2)	観察法から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 グループワーク
3)	一対比較法から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
4)	一対比較法から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】	講義内課題 レポート
5)	一対比較法から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
6)	SD法から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
7)	SD法から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
8)	心理尺度から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
9)	心理尺度から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
10)	心理尺度から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
11)	心理尺度から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 レポート
12)	面接法から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 グループワーク
13)	質的研究から心理調査を学ぶ 【予習】指定した資料を読み込む（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 グループワーク
14)	質的研究から心理調査を学ぶ 【予習】前回の講義の復習をし、本単元の課題やレポートに備える（90分） 【復習】講義で指示した課題に取り組む（90分）	講義内課題 グループワーク
15)	心理調査を用いた研究計画 【予習】興味関心のある心理学のテーマを考える（90分） 【復習】卒業論文にこれまでの学びをどのように生かすか考える（90分）	レポート
授業外学習		
本講義では心理調査を体験しながら学ぶ講義形式をとる。講義で用いたデータの解析やレポート作成を講義時間外にも行ってほしい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
教科書は使用しない。適宜資料を配布する。 また、参考となる図書については講義内で紹介する。		心理学研究法，心理統計法，卒業研究 心理学実験，心理検査法演習 情報処理演習（文書作成），情報処理演習（表計算）

課題に対するフィードバック

可能な限り添削や講評によってフィードバックする

備考

【受講上の注意】

ClassRoom等、オンライン上でのサービスを活用することがあるため、スマートフォン、タブレット、PC等、インターネット接続が可能ないずれかの機器を持参すること。データ処理等を考慮するとMicrosoft OfficeがインストールされたPCが好ましい。

レポート作成には講義の参加が必須であることから、遅刻や欠席をしないようにすること。

質疑は講義外でもオフィスアワーなどで対応するので、積極的に質問すること。

【受講上の注意】

他者やWeb上のレポートを写すなどは盗用にあたり、不正行為となる。厳に慎むこと。

講義で課したレポートはすべて期限内に提出すること。

科目名	心理学実験			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	2	2年	前期
担当者名	小野 洋平、古野 公紀、鈴木 千晴	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では実際に代表的な心理学実験を実験者・被験者・実験参加者の立場で体験します。この体験の中で、実験の計画立案、統計に関する基礎的な知識を活用してのデータ処理や結果の解釈および考察の方法、実験レポートの書き方を学びます。これらにより、卒業研究に取り組むために必要な技能を習得していきます。

到達目標

A2205

- ・実験の計画立案ができる。
- ・統計に関する基礎的な知識を活用できる。
- ・実験レポートを適切に作成できる。

成績評価方法

- ・授業および実験への参加と実施（50%）
- ・実験レポート（50%）
- * すべての実験レポート提出を必須とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習	○	○		○			10
実習	○	○	○	○	○		10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学実験の諸注意 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) レポートの書き方 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】日本語論文を読む（90分）	
3) ミュラー・リヤーの錯視 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
4) ミュラー・リヤーの錯視 ～「目的」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
5) ミュラー・リヤーの錯視 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
6) ミュラー・リヤーの錯視 ～「方法」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
7) ミュラー・リヤーの錯視 ～分析（1要因分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
8) ミュラー・リヤーの錯視 ～「結果」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
9) ミュラー・リヤーの錯視 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
10) ミュラー・リヤーの錯視 ～「考察」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
11) ミュラー・リヤーの錯視 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
12) ミュラー・リヤーの錯視 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
13) 鏡像描写 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
14) 鏡像描写 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
15) 鏡像描写 ～分析（t検定） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
16) 鏡像描写 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
17) 鏡像描写 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
18) 鏡像描写 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
19) 単語の記憶 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
20) 単語の記憶 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験

21)	単語の記憶 ~ 分析 (2要因の分散分析) 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
22)	単語の記憶 ~ 解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	
23)	単語の記憶 ~ レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
24)	単語の記憶 ~ 自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
25)	ストループ効果 ~ 実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
26)	ストループ効果 ~ 実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実験
27)	ストループ効果 ~ 分析 (2要因の分散分析) 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
28)	ストループ効果 ~ 解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	
29)	ストループ効果 ~ レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
30)	ストループ効果 ~ 自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習

授業外学習

実施したすべての心理学実験についてのレポート提出を義務とします。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>【テキスト】木下富雄 (代表編集, 1990) 教材心理学, 第4版, ナカニシヤ出版</p> <p>【参考書】日本心理学会・認定心理士資格認定委員会 (編集, 2015) 実験・実習で学ぶ心理学の基礎, 金子書房</p>	<p>心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習</p>

課題に対するフィードバック

レポートはコメントと評価をつけて返す。

備考

- ・実習のため、原則として遅刻・欠席は認められません。
- ・レポートの提出は期限厳守です。
- ・実験レポートの提出がなければ単位認定されません。
- ・他の受講生やオンライン上にあるレポートを盗用・流用した場合には、不正行為となりますので、厳に慎んでください。
- ・本演習は公認心理師 (心理学基礎科目)、認定心理士 (領域C) 取得に関わります。
- ・公認心理師、認定心理士の取得には前期開講の心理学実験 と後期開講の心理学実験 の両方の単位認定が必要です。

科目名	心理学実験			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	2	2年	後期
担当者名	小野 洋平、古野 公紀、鈴木 千晴	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では、心理学実験 に引き続き、実際に代表的な心理学実験を実験者・被験者・実験参加者の立場で体験します。この体験の中で、実験の計画立案，統計に関する基礎的な知識を活用してのデータ処理や結果の解釈および考察の方法，実験レポートの書き方を学びます。これらにより，卒業研究に取り組むために必要な技能を習得していきます。

到達目標

A2206ab

- ・実験の計画立案ができる。
- ・統計に関する基礎的な知識を活用できる。
- ・実験レポートを適切に作成できる。

成績評価方法

- ・授業および実験への参加と実施（50%）
- ・実験レポート（50%）
- * すべての実験レポート提出を必須とする。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習	○	○		○			10
実習	○	○	○	○	○		10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学実験の諸注意 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) レポートの書き方 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】日本語論文を読む（90分）	
3) 触2点関 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
4) 触2点関 ～「目的」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
5) 触2点関 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
6) 触2点関 ～「方法」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
7) 触2点関 ～分析（1要因分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
8) 触2点関 ～「結果」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
9) 触2点関 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
10) 触2点関 ～「考察」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
11) 触2点関 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
12) 触2点関 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
13) 性格の認知 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
14) 性格の認知 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
15) 性格の認知 ～分析（相関係数） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
16) 性格の認知 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
17) 性格の認知 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
18) 性格の認知 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
19) パーソナルスペース ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
20) パーソナルスペース ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験

21)	パーソナルスペース ~ 分析 (2要因の分散分析) 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
22)	パーソナルスペース ~ 解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	
23)	パーソナルスペース ~ レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
24)	パーソナルスペース ~ 自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
25)	質問紙調査 ~ 調査の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
26)	質問紙調査 ~ 調査の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実験
27)	質問紙調査 ~ 分析 (相関係数) 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	実習
28)	質問紙調査 ~ 解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】小レポートを書いてくる (90分)	
29)	質問紙調査 ~ レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習
30)	質問紙調査 ~ 自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく (90分) 【復習】レポートを書いてくる (90分)	演習

授業外学習

実施したすべての心理学実験についての小レポート、レポート提出を義務とします。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>【テキスト】資料を配布する。</p> <p>【参考書】日本心理学会・認定心理士資格認定委員会 (編集, 2015) 実験・実習で学ぶ心理学の基礎、金子書房</p>	<p>心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習</p>

課題に対するフィードバック

レポートはコメントと評価をつけて返す。

備考

- ・本演習の講義形態は選択となっていますが、公認心理師、認定心理士の取得に心理学実験 ・ の両方の単位認定が必要です。資格取得を目指される方は必ず選択してください。
- ・実習のため、原則として遅刻・欠席は認められません。
- ・レポートの提出は期限厳守です。
- ・実験レポートの提出がなければ単位認定されません。
- ・他の受講生やオンライン上にあるレポートを盗用・流用した場合には、不正行為となりますので、厳に慎んでください。

科目名	ビジネス心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	大石 英史、三島 瑞穂、脇 貴典、 古野 公紀、鈴木 千晴		関連する資格	

授業概要

ビジネス心理学は、企業を中心とする様々な組織で働いている人々の行動や経営活動について、心理学の考え方を応用、活用して問題解決を図っていこうとする学問であり、企業で働く人々に役立つ実践的な心理学である。この授業は学部基礎科目であり、人間行動にかかわる心理学の知識と技術を活かし、人と人、人と集団、集団と集団の相互作用の中でビジネスの活動を展開できる能力を習得することを目的としている。
5名の教員がそれぞれの専門の立場から講義を行うことを通して、学生の働くことへの意欲と興味を引き出し、3年次以降の専門科目につなげるための重要な科目の一つである。

到達目標

ナンバリング(A2601b)

心理学の知識と技術を生かして、ビジネスの現場で有効な活動を展開できる能力を習得する。

(1) 2 - 4回 現代若者の職業観を学び、職場のメンタルヘルスに生かすことができる。(2) 5 - 7回 仕事のモチベーション、労働評価、マーケティングについて心理学の視点から理解できる。(3) 8 - 10回 説得力と影響力、ビジネスとフォロワーシップについて学ぶとともに、障害のある人と働くことに関する理解を深める。(4) 11 - 12回 高等教育とキャリア形成、職業適性と能力開発について学び、ビジネス場面に活用できる。(5) 組織行動マネジメントの基礎と実践について学び、ビジネス場面に活用できる。

成績評価方法

定期試験は行わず、復習を兼ねた授業時間内課題等によって総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート	○		○				20
授業態度・授業参加度			○				20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ビジネス心理学とは何か？(大石、三島、脇、鈴木、古野)【予習】授業計画を把握し、ビジネス心理学のおおよそを理解しておく（45分）【復習】復習課題を作成する（45分）	
2) 現代若者の職業観とメンタルヘルス（大石） 【予習】事前配布資料を読んでおく（45分） 【復習】復習課題を作成する（45分）	
3) ビジネスの現場で求められるコミュニケーション能力とモチベーションマネジメント（大石）【予習】事前配布資料を読んでおく（45分）【復習】復習課題を作成する（45分）	
4) 4回目：ストレスマネジメントとしてのセルフケア（大石） 【予習】事前配布資料を読んでおく（45分） 【復習】復習課題を作成する（45分）	
5) 仕事のモチベーションを高める心理学（三島） 【予習】モチベーションが変化する条件や状態を考える（30分）【復習】授業やアルバイトなどの活動に応用し、効果を検討する（60分）	
6) 労働の評価に関わる心理学 人は人をどのように評価しているか（三島）【予習】人を客観的に評価することを考える（30分）【復習】周りを公平に捉えることを試しその効果を検討する（60分）	
7) マーケティングに関連する心理学 なぜ人はそれにお金を払うのか（三島）【予習】節約できるときの条件や状況を考える（45分）【復習】学んだ内容を応用し効果を検討する（45分）	
8) 説得力と影響力の科学（脇）【予習】説得がビジネスに及ぼす影響についてまとめる（45分）【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	
9) ビジネスとフォロワーシップ（脇）【予習】フォロワーシップがビジネスに及ぼす影響についてまとめる（45分）【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	
10) 障害のある人と働く（脇）【予習】障害者雇用の現状と課題についてまとめる（45分）【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	
11) 高等教育とキャリアの形成（鈴木） 【予習】自分の進路や進学先の選択について振り返り、まとめる（45分） 【復習】復習課題についてまとめる（45分）	
12) 職業適性と能力開発（鈴木）【予習】職場における能力について調べたことや自分の経験をもとにまとめる（45分）【復習】復習課題についてまとめる（45分）	
13) 組織行動マネジメント：基礎編（古野）【予習】行動分析学の基礎についてまとめる（45分）【復習】復習課題を作成する（45分）	
14) 組織行動マネジメント：実践編（古野）【予習】応用行動分析学についてまとめる（45分）【復習】復習課題を作成する（45分）	
15) 全体の振り返り 【予習】授業全体を振り返り、質問事項などを準備する（45分） 【復習】授業全体の振り返り課題を作成する（45分）	
授業外学習	
講義で学ぶことの予習と復習、および必要に応じて課題を課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しない。 適宜資料を配布する。	心理学概論、経営学、キャリアデザイン、ストレスマネジメント論

課題に対するフィードバック

作成した復習課題は翌週の授業で解説する。

備考

原則、対面授業で行う。指示や連絡、教材の配布等については、原則、Google Classroomを利用する。

科目名	臨床心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	大石 英史	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この講義では、まず臨床心理学の歴史を取り上げ、臨床心理学の成り立ちについて学習する。また、精神疾患、臨床心理査定、心理療法、臨床心理面接、臨床心理学的地域支援の主に4点について概説する。具体的には、心の健康の回復や増進に向けて、どのような臨床領域があるのか、臨床心理学はどのような学問的性格があるのか、臨床心理学の独自性は何なのか、どのような方法論があるのかなど、臨床心理学における代表的な理論を取り上げながら事例や研究を交えて解説する。なお、授業は夏休みに3日間の集中講義の形で開講する。担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、教育領域、産業領域、地域などにおいて心理学的支援を実践している。

到達目標

ナンバリング(A2702ab)

遠隔授業で実施

- ・臨床心理学の基礎概念について説明できる。
- ・精神疾患、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理学的地域支援について、それぞれ理解し説明できる。

成績評価方法

授業内レポートと最終レポートの評価を基本としながら、授業参加度等を考慮して総合的な評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 臨床心理学の成り立ち 日本の臨床心理学の歴史、国家資格化と今後の臨床心理学 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
2) 世界の臨床心理学 臨床心理学の起源、臨床心理学の変遷 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
3) 臨床心理学的研究方法 過去に行われた実験など、質的研究・量的研究 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
4) 臨床心理学の活動 心理アセスメントについて、心理的支援について 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
5) 臨床心理学の定義・理念・体系 定義・基礎理念・体系 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
6) 臨床心理査定 心理査定（アセスメント）とは、さまざまな心理検査 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
7) 臨床心理学支援 臨床心理学支援とは、さまざまな臨床心理支援 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
8) 精神分析的アプローチ 定義と歴史、病理論とアセスメント論、そして治療論 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
9) 分析心理学的アプローチ 集合的無意識と個性化、文化と時代的側面 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
10) 行動論・認知論的アプローチ 認知行動療法の理解、臨床心理学への寄与と課題 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
11) ヒューマニスティック・アプローチ 人間性心理学の歴史、面接プロセス・今後の課題 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
12) グループ・アプローチ グループ・アプローチの臨床理論、グループ・アプローチの意義と展望 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
13) コミュニティ・アプローチ コミュニティ・アプローチの諸理論、コミュニティ・アプローチの展望 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
14) 臨床心理学的地域支援について コンサルテーションの理解と活動 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
15) 臨床心理学地域支援について 緊急支援の実際 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業内レポート
授業外学習	
<p>指定された資料等を熟読しテーマについて理解しておく。 授業後は授業の復習をして専門用語など知識の正しい理解と定着を図る。 わからないことは授業後に質問する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>公認心理師の基礎と実習第3巻 臨床心理学概論 野島一彦・岡村達也編 遠見書房</p>	<p>ビジネス心理学概論、心理学実験 ・ ・ ・、健康・医療心理学、福祉心理学、教育・学校心理学、司法・犯罪心理学、発達心理学、生涯発達心理学 ・ ・ ・</p>

課題に対するフィードバック

次回の授業で取り上げてコメントする。

備考

科目名	経営組織論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	渡邊 利文		関連する資格	

授業概要

経営組織論は大きくマクロ組織論とミクロ組織論に分かれます。マクロ組織論は、組織の構造や機能に着目して組織を考察します。従って、組織が生成、成長、発展していく中の経営者の組織管理職能が重要な役割を果たします。更に、組織と組織を取り巻く組織環境との相互作用も重要な要因です。そして、組織と他の組織との関係、組織間関係も重要になってきます。これに対して、ミクロ組織論は、組織の中の個人、つまり、組織メンバーに焦点をあて、個人が組織の中でどのような行動をとるかを考察します。従って、個人のモチベーションやリーダーシップ力、集団的意思決定が重要な分析要因になります。この授業では、マクロ組織論を中心に学習を進めます。ミクロ組織論は、マクロ組織論を考察する際に必要ならば取り上げますが、詳しくは学習しません。ミクロ組織論を深く学習したい人は、「組織行動論」の授業を履修してください。従って、この授業では、経営組織の構造、機能、管理原理を中心に学習します。

到達目標

(A2602)
経営学の学修成果に基づき経営組織の基本、発展、学説及び実際の企業の経営組織について、それらの知識を十分に身につけ、その重要性を他者に説明することができること。

成績評価方法

授業内小テスト、復習課題の提出等にもとづき、総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 組織の概念と均衡条件 組織とは何か、組織成立の条件にはどのようなものがあるか、組織均衡の条件とは何か、予習は必要なし、復習は上記の課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
2) 2. 組織構造の設計原理 組織構造の設計原理にはどのようなものがあるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
3) 3. 分業システムとしての組織 組織における分業にはどのようなものがあるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
4) 4. 組織構造の形態その1 ラインとスタッフとは何か 職能別組織とは何か 事業部制組織とは何か、予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
5) 5. 組織構造の形態その2 カンパニー制とは何か、マトリックス組織とは何か、そのメリットとデメリット 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
6) 6. 国際経営組織の形態 国際化の進展にともなって、組織構造の形態はどのように変化するか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
7) 7. 組織のライフサイクル 組織は成長するにつれてどのように変容していくか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
8) 8. 官僚制組織 官僚制組織とは何か、また、官僚制の逆機能にはどのようなものがあるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
9) 9. 外部環境と組織 その1 経営戦略と組織構造との関係は、組織構造の動態化の方策として、どのようなものが考えられるか、予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
10) 10. 外部環境と組織 その2 組織構造のコンティンジェンシー理論は何か 環境の不確実性の高まりに対して組織的な対応策には、予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
11) 11. 外部環境と組織その3 資源依存度の決定的要因は何か 資源依存関係をマネジメントする方法にはどのようなものがあるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
12) 12. 外部環境と組織その4 取引コストとは何か 企業行動は取引コストによってどのような影響を受けるか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
13) 13. その他の組織観について 組織の個体群生態学論 社会ネットワーク組織論 新制度派組織論 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
14) 14. 企業の社会的責任（CSR） CSRに対する消極論とはどのようなものか CSRに対する積極論とはどのようなものか 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
15) 15. 企業のコーポレートガバナンス コーポレートガバナンスとは何か 日・米・独のコーポレートガバナンスの違いは何か 予習は必要なし。復習は上記課題を確認すること（90分）	小テストを実施します
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使いません。授業中に、レジメや必要なコピー用紙を配布します。参考文献は、図書館の本を活用してください。経営組織論の本は多数あります。</p> <p>授業中に数回にわたって小テストを実施しますので、学期末の試験は実施しません。</p>	組織行動論、経営学、経営戦略論

課題に対するフィードバック

小テストは返却し翌週の授業時間内に解説します。
授業の予習は必要ありませんが、授業中にインプットした知識は、必ずアウトプットして再確認する必要があります。
実施した小テストは良き復習材料です。繰り返し学習しておいてください。

備考

科目名	行動経済学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	城下 賢吾	関連する資格		

授業概要

行動経済学とは、人間がかならずしも合理的には行動しないことに着目し、伝統的な経済学ではうまく説明できなかった社会現象や経済行動を、人間行動を観察することで実証的にとらえようとする新たな経済学である。この講義ではゲーム理論も紹介しながら、人間の意思決定やその結果である社会現象について理解を深める。

到達目標

A2604

1. 行動経済学に関する基礎的知識の習得。
2. 実際の経済活動においてどのような場面で不合理的行動をする傾向にあるかを理解すること。
3. 行動経済学が様々な分野で応用されていることを理解すること。

成績評価方法

最終確認テスト（40点）、講義後の小テスト（60点）で評価。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	20			20			40
小テスト、授業内レポート	25		5	30			60
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 序章 行動経済学とはどんな学問か（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
2) 第1章 人はどのように行動を決定し、改善するのか（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とを読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
3) 第2章 認知的節約による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
4) 第3章 本能的な評価による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
5) 第4章 近視眼的な本能による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
6) 第5章 不確実性による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
7) 第6章 理性の限界による不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
8) 第7章 見返りを求めない利他的行動・協力行動の謎（1）（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
9) 第7章 見返りを求めない利他的行動・協力行動の謎（2）（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
10) 復習（第1章～第7章）（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
11) 第8章 「行動」を自然に引き出すアプローチ（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
12) 第9章 ファイナンス分野の不合理行動（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
13) 第10章 多様な分野に応用される行動経済学（予習）毎事前に参考図書を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
14) 復習（第1章～第6章）（予習）事前に講義資料を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返し、練習問題を復習すること（1時間30分）	小テスト
15) 復習（第7章～第10章）（予習）事前に講義資料を読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料を読み返すこと（1時間30分）	
授業外学習	
講義で学習した行動経済学が日々の生活における意思決定にどのような影響を与えているか考えてみよう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
(テキスト)なし(参考書)講義の中で紹介します。(教材)講義前あるいは講義中に配布	心理学に関する科目

課題に対するフィードバック

小テストについては次回の講義において解説する。それに基づいて再度復習を行うこと。

備考

科目名	組織行動論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	渡邊 利文		関連する資格	

授業概要

人が働く中でどのようにしたら個人のモチベーションや職務満足度は高まるのだろうか。欠勤や離職など組織にとって望ましくない態度や行動はどのようにして生じるのか等について、心理学や社会心理学、社会学などの学際的知見を応用し解決をはかるのが組織行動論である。この講義では、組織の中で人が個人として、集団としてどのような態度をとり行動するかについて、第一に、組織の中での個人のモチベーション論を、第二に指導者のリーダーシップ論を、そして、第三に、集団のなかのコンフリクトと集団的意思決定論についてその基礎概念や基本理論の学習を通じて理解を深める。

到達目標

A3604
組織と人の関わりや組織における人間行動の基本的知識を体系的に理解するのが、この講義の目的です。
今後は、この知識をベースにして自分のコミュニケーション能力とマネジメント能力を磨いて下さい。

成績評価方法

定期試験を実施します。
宿題、授業外レポートの提出を課す場合があります。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 組織行動論とは 1-1. 組織とは何か 1-2. 組織と人間との関わり 【復習】講義内容を復習する（60分）	
2) 2. 仕事へのモチベーション その1 2-1. モチベーションとは 2-2. 目標とモチベーション 【復習】講義内容を復習する（60分）	
3) 3. 仕事へのモチベーション その2 3-1. 内発的モチベーション 【復習】講義内容を復習する（60分）	ワークモチベーションの内容要約のレポート提出
4) 4. 組織コミットメントと組織の公平 その1 4-1. 組織コミットメントに影響を与える諸要因 【復習】講義内容を復習する（60分）	
5) 5. 組織コミットメントと組織の公平 その2 5-1. 組織的公平とはなにか 【復習】講義内容を復習する（60分）	組織コミットの内容要約のレポート提出
6) 6. リーダーシップとは その1 6-1. リーダーシップ論の所説 【復習】講義内容を復習する（60分）	
7) 7. リーダーシップとは その2 7-1. リーダーとメンバーの交流 7-2. 信頼とリーダーシップ 【復習】講義内容を復習する（60分）	リーダーシップの内容要約のレポート提出
8) 8. 組織社会化について 8-1. 組織社会化の全体的枠組み 【復習】講義内容を復習する（60分）	
9) 9. 意思決定と合意形成 その1 9-1. 意思決定におけるヒューリスティックとバイアス 9-2. 合意形成と第三者による支援 【復習】講義内容を復習する(60分)	組織的意思決定と合意形成の内容要約のレポート提出
10) 10. 意思決定と合意形成 その2 10-1. コミュニケーション戦略 10-2. 組織文化の力 【復習】講義内容を復習する（60分）	組織開発の内容要約のレポート提出
11) 11. 組織開発 11-1. 組織学習について 11-2. 組織変革について 【復習】講義内容を復習する（60分）	
12) 12. 日本の経営について その1 12-1. 日本の経営の特徴と問題点 【復習】講義内容を復習する（60分）	
13) 13. 日本の経営について その2 13-1. 日本の経営、今後の課題 【復習】講義内容を復習する（60分）	日本の経営の内容要約のレポート提出
14) 14. キャリア・マネジメント 14-1. キャリアとは 14-2. キャリア・マネジメントの今後の課題 【復習】講義内容を復習する（60分）	
15) 15. 全体のまとめ 【復習】講義内容を復習する（60分）	
授業外学習	
予習の必要は有りません。しかし、しっかり復習をして下さい。復習は、レポート作成時にできると思います。レポート作成時に必要な情報が不足している場合には、図書館の関連本で補って下さい。インプットとアウトプットの学習サイクルを維持・継続することが必要です。レポート作成には60分以上は時間をかけて下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しません。講義の前にレジメを配布します。参考書は、図書館の関連本を探して下さい。	経営組織論

課題に対するフィードバック

レポートを作成する際に必要なメイン・キーワードを数個提示します。それらを使ってレポートを作成して下さい。提出したレポートは返します。その際、コメントを付けておきます。粗雑なレポートは再度の提出を要請する場合があります。

備考

科目名	デザイン心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典	関連する資格	認定心理士	

授業概要

デザインとは、狭義には素描や設計図など、物や形の構成や内容を指すが、広義には、種々の場面における問題解決や目標達成のためのやり方、計画、立案も含まれている。
では、これらのデザインに心理学がどのようにかかわっているのだろうか。本講義では、担当教員の専門分野におけるデザインを心理学的に解説する。

到達目標

A2606
種々の場面における問題や目標を把握し、解決・達成のためのデザインについて心理学的に説明できる。
身の回りの環境の問題・目標を発見し、学んだ知識を活かしたデザインについて心理学的に考えることができる。

成績評価方法

講義への参加度
理解度の確認（小テスト・小レポート）
中間試験

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					20
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク					○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション デザインと心理学のかかわり 【予習】講義で何を学び、何ができるようになりたいか考える 【復習】デザインの定義に照らし合わせて身の回りのデザインを心理学的に考える	アンケート
2) 感性工学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
3) 知覚認知心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
4) 環境心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
5) 実験心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
6) 教育心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
7) メディア心理学とデザイン 予復習については備考参照	小テスト・小レポート
8) デザインを読む 【予習】身の回りにあるモノや環境の気になるデザインを探す。これまでの授業資料を整理する。【復習】気になるデザインを分析する。	演習・グループディスカッション
9) デザインの分解と構築 【予習】雑誌やチラシを用意して持参する。 【復習】自分の作品を振り返り、気づきを深める。	演習
10) コミュニケーションのデザイン【予習】言葉やジェスチャー、物、画像など様々なコミュニケーションの媒体に気づいておく。伝えたいことを考える。【復習】日常のコミュニケーションに学んだ内容を活かす。	演習・グループディスカッション
11) 多様性とデザイン 予復習については備考参照	小レポート
12) マイノリティとデザイン 予復習については備考参照	小レポート
13) 問題解決とデザイン 予復習については備考参照	小レポート
14) 発表・検討会 【予習】これまでの講義に基づいたプレゼンテーション方法とデザインを考える【復習】検討内容を踏まえてデザインを修正・発展させる	グループディスカッション・プレゼンテーション
15) 発表・検討会 【予習】これまでの講義に基づいたプレゼンテーション方法とデザインを考える【復習】検討内容を踏まえてデザインを修正・発展させる	グループディスカッション・プレゼンテーション
授業外学習	
配布する資料について熟読し、その内容に対して自分の意見を考える。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は使用しない。参考図書は適宜講義時に紹介する。	情報処理演習（プレゼンテーション）・キャリアデザイン ・芸術と心理

課題に対するフィードバック

備考

複数教員の分担講義のため、シラバスに記載された単元の実施順序は前後することがある。
順序変更の際には事前にアナウンスする。
Googleクラスルームなどを講義内で使用することがある。インターネットに接続可能な電子機器を持参のうえ受講すること。

2～7回・11～13回の予復習内容は下記の通りである。
【予習】関連する心理学領域の概論書を読む。社会における問題や達成すべき目標を見つける
【復習】予習・講義内容に則して、社会問題の解決や目標を達成するためのデザインを考える

科目名	公認心理師の職責			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	高田 晃、大石 英史	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

この講義では公認心理師法に基づき、公認心理師の職責についての理解を深める。また、公認心理師としての倫理についても学習する。

実務経験

担当教員（大石英史）は公認心理師・臨床心理士であり、教育領域、産業領域、地域などにおいて心理学的支援を実践している。

担当教員（高田晃）は公認心理師・臨床心理士であり、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラー、スクールカウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行う。

到達目標

(A2703a)

公認心理師の主な活動である(1)心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析 (2)心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助 (3)心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助 (4)心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供について正しく理解し、説明できる。

公認心理師の活動する保健医療分野・福祉分野・教育分野・司法犯罪分野・産業労働分野等それぞれの領域での具体的な活動について、理解し説明することができる。

各領域での活動を行う際に求められる守秘義務など倫理的配慮や多職種との連携協働等についてその重要性を理解できる。

大石先生担当授業、シラバス授業内容の3・4・5・12・13の授業。

高田先生担当授業、3・4・5・12・13以外の授業

成績評価方法

毎回提示される課題について、その内容等で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○	○			25
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公認心理師の職責とは（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
2) 公認心理師の4つの役割（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
3) 公認心理師に求められる法的義務と倫理（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
4) 利用者（クライアント、患者や家族等）の安全の確保について（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
5) 情報の適切な取り扱いについて（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
6) 各領域における具体的な活動（保健医療分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
7) 各領域における具体的な活動（福祉分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
8) 各領域における具体的な活動（教育分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
9) 各領域における具体的な活動（司法・犯罪分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
10) 各領域における具体的な活動（産業・労働分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
11) 心理的支援者としての自己課題発見・解決能力（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく。 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
12) 生涯学習としての取り組みと準備（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
13) 多職種連携・地域連携・協働（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
14) 公認心理師としてのアイデンティティについて（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
15) 公認心理師の今後の課題（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく(90分) 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する(90分)	ディスカッション
授業外学習	
各担当教員より提示された課題や資料を事前に熟読し理解しておく。 授業中理解できなかった専門語彙は、次の授業までに調べて理解しておく。 各担当教員の指示に従いレポートを作成する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
公認心理師の基礎と実践（第1巻）	心理学概論 ・ 、臨床心理学概論

課題に対するフィードバック

授業中の疑問や気づき、及び感想などの小レポートについて、修正や再度の説明が必要な個所について次回の授業で口頭で説明する。

備考

オフィスアワー：各担当教員の指定した時間に行う。

科目名	関係行政論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	西村 秀明	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

公認心理師に関する諸制度について、保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野、の5つの分野を重点的に取り上げて理解する。

到達目標

A2704a
心理臨床に従事する専門家として、クライアント支援に際して必要不可欠である基本的な各領域における法的制度の修得。

成績評価方法

各制度について、その習得度を定期試験において評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 保健医療分野に関係する各制度(1) 【予習】精神保健福祉法を読んでおくこと（120分） 【復習】精神保健福祉法が何を意図しているか周知すること（60分）		
2) 保健医療分野に関係する各制度(2) 【予習】医療・保護に関する法的問題について学習しておくこと(120分) 【復習】人権についてどのような措置がとられてるか周知すること(60分)		
3) 保健医療分野に関係する各制度(3) 【予習】自立支援法について学習しておくこと（120分） 【復習】地域支援について周知すること（60分）		
4) 保健医療分野に関係する各制度(4) 【予習】医療観察法について学習しておくこと（60分） 【復習】医療観察法による処遇について周知すること（60分）		
5) 保健医療分野に関係する各制度(5) 【予習】精神保健福祉全般について復習しておくこと（120分） 【復習】事例を通して法律の運用について熟知すること（120分）		グループワーク
6) 福祉分野に関係する各制度(1) 【予習】児童福祉法について学習しておくこと（120分） 【復習】児童福祉法がどのように運用されているか周知すること（90分）		
7) 福祉分野に関係する各制度(2) 【予習】虐待防止法について学習しておくこと(120分) 【復習】虐待防止法がどのように運用されているか理解を深めること(90分)		
8) 福祉分野に関係する各制度(3) 【予習】老人福祉法について学習しておくこと（120分） 【復習】事例を通して法律の運用について熟知すること（120分）		グループワーク
9) 教育分野に関係する各制度(1) 【予習】教育基本法・教育の確保法について学習しておくこと（120分） 【復習】児童生徒の教育権について周知すること（90分）		
10) 教育分野に関係する各制度(2) 【予習】子どもの権利条約について学習しておくこと（90分） 【復習】子どもの権利と大人の義務について周知すること（90分）		
11) 教育分野に関係する各制度(3) 【予習】スクールカウンセリング・スクールソーシャルワークについて学習しておくこと(90分)【復習】不登校児童生徒とその法的支援について周知すること(90分)		グループワーク
12) 司法・犯罪分野に関係する各制度(1) 【予習】刑法、少年法について学習しておくこと（120分） 【復習】犯罪における処遇について周知すること（90分）		
13) 司法・犯罪分野に関係する各制度(2) 【予習】虐待防止法について学習しておくこと（120分）【復習】虐待防止法がどのように運用されているか、及び処遇について理解を深めること（90分）		グループワーク
14) 産業・労働分野に関係する各制度(1) 【予習】労働基準法、障害者雇用促進法、男女雇用機会均等法について学習しておくこと（120分）【復習】労働界における問題についてまとめること（120分）		
15) 産業・労働分野に関係する各制度(2) 【予習】労働安全衛生法について学習しておくこと（90分）【復習】ストレスチェックと処遇方法について理解を深めること（90分）		グループワーク
授業外学習		
それぞれの領域における法律について、事前に学習しておくこと。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
各法律や制度については担当教員より指示するので用意しておくこと。また事例については担当教員が配布、または口頭で説明する。	心理実習 ・ 、心理演習 ・ 、産業・組織心理学、社会・集団・家族心理学、教育・学校心理学、心理学的支援法	

課題に対するフィードバック

課題として、それぞれの法律に基づいた「事例」を出すので、法律がどのように適用されていくかレポートさせることにより、添削して解説する形でフィードバックする。

備考

科目名	心理学的支援法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	大石 英史、榎本 俊哉	関連する資格	公認心理師・認定心理士	

授業概要

カウンセリングは理論と実践から成り立つ心の支援のための方法である。本講義では主としてパーソンセンタード・アプローチの立場から、実際の相談場面を想定した演習形式でカウンセリングとカウンセリングの基本技法について考えていく。なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、教育領域、産業領域、地域などにおいて心理学的支援を実践している。本講義においては、この臨床実践をもとに講義・演習を実施する。

到達目標

ナンバリング(A2704ab)
 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応および限界について説明できる。
 援助的な関係を築くための援助者の態度について理解し、実践できる。
 不適応行動の背景にある問題について説明できる。
 プライバシーや倫理的な配慮について説明できる。
 心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について説明できる。

成績評価方法

受講態度（グループワークおよび演習、授業内レポートを含む）と定期試験により評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート		○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○			15
演習		○	○	○			15
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (第1～3回：榎本担当) 代表的な心理療法 【復習】講義内容の復習（60分）	
2) カウンセリングの歴史、概念、意義、適応および限界 【復習】講義内容の復習（60分）	
3) プライバシーと倫理的な配慮 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
4) (第4～8回：大石担当) 援助的な関係を構築するために－心理療法の3つの立場を手がかりに－ 【復習】講義内容の復習（60分）	
5) カウンセリングの理論と実際－専門家に求められる傾聴とは－ 【復習】講義内容の復習（60分）	
6) カウンセリングの理論と実際－専門家が直面する諸課題－ 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
7) カウンセリングの理論と実際－事例から学ぶ心理学的支援－ 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
8) 心理学的支援における援助者の態度－パーソンセンタード・アプローチからの示唆－ 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
9) (第9～15回：榎本担当) 援助的なコミュニケーションの方法 相談の背景にある思考と感情 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
10) 援助的なコミュニケーションの方法 問題をとらえる 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
11) 援助的なコミュニケーションの方法 連携が必要な問題 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
12) 援助的なコミュニケーションの方法 基本的技法 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
13) 援助的なコミュニケーションの方法 クライアント中心療法 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
14) 援助的なコミュニケーションの方法 認知・行動療法 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
15) 援助的なコミュニケーションの実際 模擬事例の検討 【復習】講義内容の復習（60分）	演習・グループワーク
授業外学習	
講義で学んだ心理学的支援の復習 適宜、レポートを課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【大石担当分】テキストは使用しない。毎回資料を配布する。 必要に応じて、授業内で参考文献を紹介する。 【榎本担当分】テキストは使用せず、適宜資料を配布する。 (参考図書) 藤原和政・谷口弘一 [編著] (2020) 学校現場で役立つ教育相談・北大路書房	感情・人格心理学、社会・集団・家族心理学、健康・医療心理学、心理的アセスメント

課題に対するフィードバック

レポートにコメントをつけて返却するか、または次回の授業で取り上げてコメントする。

備考

科目名	集団心理療法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	榎本 俊哉		関連する資格	

授業概要

この演習では、集団心理療法について実際に体験することで、自己理解、自己受容、他者理解、他者受容、他者との共同の在り方、ファシリテーションの方法などを学んでいく。

特に「集団心理療法演習」においては構成的エンカウンターグループを体験し、グループにおける居場所感や自己一致感が体験できることを目標とする。

なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、地域のスクールカウンセラーとして児童生徒を対象にエンカウンターグループを実践している。本講義において履修生は、このスクールカウンセリングにおける実践内容を含む演習を体験する。

到達目標

(A2607)

自己理解や他者理解を深める、自己受容や他者受容を促進する、グループ体験における居場所感を得ていく、など、履修生は各自でグループでのコミュニケーションに関する到達目標を定め、自己評価していく。このプロセスを通してグループ体験におけるコミュニケーションが円滑になり、自己一致感が高まることを目標とする。

成績評価方法

この授業は演習であるため定期テストは実施せず、主として授業内で実施したグループ体験についてのレポートにより評価する。なお、規定回数以上欠席した場合、レポートの提出がない場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							70
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス グループ体験の演習についての諸注意 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）	
2) 構成的エンカウンターグループ体験 自己理解・他者理解 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
3) 構成的エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
4) 構成的エンカウンターグループ体験 自己受容・他者受容 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
5) 構成的エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
6) エンカウンターグループ演習 （第6回以降、到達目標は履修生がそれぞれに検討する。） 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
7) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
8) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
9) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
10) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
11) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
12) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
13) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
14) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
15) エンカウンターグループ演習の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
授業外学習	
グループ体験について振り返るためのレポートを課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜プリントを配布する。	集団心理療法演習

課題に対するフィードバック

レポートにはコメントを付けて返却する。

備考

この演習の履修生には、集団心理療法演習 の履修を推奨する。

科目名	集団心理療法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	梶本 俊哉	関連する資格		

授業概要

この演習では、集団心理療法について実際に体験することで、自己理解、自己受容、他者理解、他者受容、他者との協働の在り方、ファシリテーションの方法などを学んでいく。

集団心理療法演習 における体験を前提として、集団心理療法演習 においてはベーシック・エンカウンターグループを体験し、さらにファシリテータの経験を積むことで、グループにおいてコミュニケーションを促進する（ファシリテーション）スキルを獲得することを目標とする。

なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、地域のスクールカウンセラーとして児童生徒を対象にエンカウンターグループを実践している。本講義において履修生は、このスクールカウンセリングにおける実践内容を含む演習を体験する。

到達目標

(A2602)

自己理解や他者理解を深める、自己受容や他者受容を促進する、グループ体験における居場所感を得ていく、など、履修生は各自でグループでのコミュニケーションに関する到達目標を定め、自己評価していく。このプロセスを通してグループ体験におけるコミュニケーションが円滑になり、自己一致感が高まることを目標とする。

また、グループのコミュニケーションを促進するファシリテーターとしての配慮ができるようになることも目標とする。

成績評価方法

この授業は演習であるため定期テストは実施せず、主として授業内で実施したグループ体験についてのレポートにより評価する。なお、規定回数以上欠席した場合、レポートの提出がない場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							70
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス グループ体験の演習についての諸注意 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）	
2) エンカウンターグループ体験 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
3) エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
4) エンカウンターグループ体験 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験
5) エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
6) エンカウンターグループ演習 （第6回以降、到達目標は履修生がそれぞれに検討する。） 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
7) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
8) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
9) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
10) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
11) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
12) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
13) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
14) エンカウンターグループ演習 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）	グループ体験 ファシリテーター体験
15) エンカウンターグループ演習の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）	演習
授業外学習	
グループ体験について振り返るためのレポートを課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
適宜プリントを配布する。	集団心理療法演習

課題に対するフィードバック

レポートにはコメントを付けて返却する。

備考

集団心理療法演習 を履修済みであることが望ましい。

科目名	心理演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	梶本 俊哉、小山 典子、木元 卓也	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この演習では、人間関係、人間の心理の理解や関わりに大切な技法や理論の実際について、演習を行う。基礎的な対人関係訓練や自他の気づき、アサーション、心理面接や認知行動療法の基礎、などについて、ワークなど実習を通して体験的に学ぶ。これにより臨床心理学を自分の生活に活かす視点を獲得する。

実務経験

公認心理師、及び臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどの臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

到達目標

- (A2706ab)
- * 心理に関する支援を要する者等に関する知識及び技能の修得
(1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接
 - * 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成ができる
 - * 自己理解や他者理解を深める。
 - * 生活場面において、より柔軟に考えることができる。
 - * 自分自身の生活に臨床心理学的な視点を活かすことができる。
 - * 公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解することができる。

成績評価方法

レポート等40%、受講態度および演習60%で評価する。なお、欠席が所定回数を超えた場合、評価の対象とはならない。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（榎本） 【予習】あらかじめ「認知療法」についての参考図書を読んでおくこと（360分） 【復習】「認知療法」について確認しておく（180分）	
2) アサーション（榎本） 【予習】日頃の自分のコミュニケーションのありかたについて考える（90分） 【復習】日常生活でアサーションを使ってみる（90分）	グループワーク・演習
3) 認知行動療法1 認知行動療法における心の仕組み（榎本） 【予習】心理学における多様な心の捉え方、理解のありかたについて理解する（90分） 【復習】自分の心について認知行動療法モデルで理解する（90分）	グループワーク・演習
4) 認知行動療法2 自動思考について（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】自分の心にもある自動思考について理解する（90分）	グループワーク・演習
5) 認知行動療法3 コラム法について（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】生活の中でコラム法を実践してみる（90分）	グループワーク・演習
6) マインドフルネス（榎本） 【予習】マインドフルネスに関する文献を読む（90分） 【復習】生活の中でマインドフルネスを体験してみる（90分）	演習
7) 行動活性化療法1 行動活性化療法の計画（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】行動活性化療法の計画を考える（90分）	演習
8) 行動活性化療法2 行動活性化療法の実施（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】行動活性化療法を計画に基づいて実践してみる（90分）	演習
9) 行動活性化療法3 行動活性化療法の計画の再検討（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】行動活性化療法を実践体験に基づいて再計画し、実践してみる（90分）	演習
10) 行動活性化療法4 行動活性化療法まとめ（榎本） 【予習】認知行動療法に関する文献を読む（90分） 【復習】行動活性化療法を実践体験に基づいて振り返る（90分）	演習
11) 相談活動について（木元） 【予習】相談者の来談に至るまでの気持ちをイメージする（60分） 【復習】相談活動を受ける上でのマナーについて復習する（60分）	演習
12) 初回面接の重要性（木元） 【予習】初回面接について予習する（60分） 【復習】初回面接について復習する（60分）	演習
13) 傾聴の架空事例を通して考える相談活動（木元） 【予習】傾聴について予習する（60分） 【復習】傾聴の事例を通しての気付きと振り返り（60分）	演習
14) 相談活動に望ましい環境づくり（木元） 【予習】相談者が話しやすい相談環境について予習する（60分） 【復習】相談環境についての振り返り（60分）	演習
15) 相談活動に望ましい環境づくり（木元）／まとめ（小山）	
授業外学習	
第1回～10回では、それぞれが生活上の問題解決に取り組むことを課題とし、この経過をレポートにまとめて提出する。授業に関連する書籍や時事問題について疑問を持ちながら読むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。 *参考書 大野裕・田島美幸（2011）. こころのスキルアップ・プログラム 認知療法・認知行動療法の視点から.（独）国立精神・神経医療研究センター／認知行動療法センター	心理演習、心理的アセスメント、臨床心理学概論、心理学的支援法

課題に対するフィードバック

レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

第15回目は、心理演習 ・心理実習へのつなぎとして、今後の課題を提示する。

科目名	ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	2年	前期			
担当者名	大石 英史、小山 典子、三島 瑞穂、小野 洋平、古野 公紀、脇 貴典、鈴木 千晴		関連する資格				
授業概要 学問の発展にともない、心理学は人間に関わる多くのテーマを取り扱うようになってきた。本学心理学部教員の研究領域も多岐にわたっており、ゼミナール・および卒業研究でのゼミ配属に先立ち、ゼミ担当教員がどの領域で研究指導を行うのか事前に知っておくことが必要である。 そこで、ゼミナール・では、担当教員がオムニバス形式で自分の専門領域について講義を行うとともに、各ゼミナールに分かれて、様々な心理学的テーマについて対話を深める。							
到達目標 ナンバリング (A2501) <ul style="list-style-type: none"> 各教員の専門領域で活用されている心理学理論について、興味関心を抱くことができる。 興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。 それをもとにしてわかりやすいレジュメを作成することができる。 担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。 			成績評価方法 レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等を基に、各ゼミ担当が総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
2) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
3) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
4) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
5) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
6) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
7) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
8) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
9) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
10) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
11) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
12) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
13) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
14) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
15) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
授業外学習	
出された課題や次回授業テーマに関することを調べておく。 授業で説明のあった専門用語なども調べて理解しておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
各授業担当者より提示される。	基礎ゼミナール ・ ゼミナール ・ 卒業研究

課題に対するフィードバック

各回の授業担当者より行われる。

備考

授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をとること。

科目名	ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	後期
担当者名	大石 英史、小山 典子、三島 瑞穂、小野 洋平、古野 公紀、脇 貴典、鈴木 千晴		関連する資格	

授業概要

学問の発展にともない、心理学は人間に関わる多くのテーマを取り扱うようになってきた。本学心理学部教員の研究領域も多岐にわたっており、ゼミナール・および卒業研究でのゼミ配属に先立ち、ゼミ担当教員がどの領域で研究指導を行うのか事前に知っておくことが必要である。そこで、ゼミナール・では、担当教員が自分の専門領域について講義を行うとともに、各ゼミナールに分かれて、様々な心理学的テーマについて対話を深める。

到達目標

ナンバリング (A2502)

- ・各教員の専門領域で活用されている心理学理論について、興味関心を抱くことができる。
- ・興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- ・それをもとにしてわかりやすいレジュメを作成することができる。
- ・担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等を基に、各ゼミ担当が総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
2) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
3) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
4) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
5) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
6) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
7) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
8) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
9) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
10) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
11) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
12) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
13) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
14) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
15) 授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	ディスカッション
授業外学習	
出された課題や次回授業テーマに関することを調べておく。 授業で説明のあった専門用語なども調べて理解しておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
各授業担当者より提示される。	基礎ゼミナール ・ ゼミナール ・ 卒業研究

課題に対するフィードバック

各回の授業担当者より行われる。

備考

授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をとること。